自由記述一覧

（18歳以上の大人　自由記述回答一覧）
※子ども回答は本編に記載

5 -①　調査結果（18 歳以上の大人）　※18 歳未満の子どもを持つ保護者

【Q5.Q4 に関連して、その理由や実際の場面を教えてください。】

（自由記述一覧）

- 忙しい時に自分の都合に合わせるようにしがち。
- 少し話が違うかもしれませんが、息子はひだまりセンターの療育に通っています。そして、市内の保育園に日々通ってもいます。手帳をもらうような断定的なものではなく、グレーゾーンのようなのですが、息子にとって何が最善か、迷っています。療育で改善していくのか私も初めてで分からないことも多く、小学校は普通クラスで無理なくやっていけるのか不安ばかりです。息子が自分らしく通え学べる場所や先生はどういった方が良いのかなど迷います。そういった時に同じような子を持つ方はどうしてるか、身近で知り合える機会やコミュニティがあるときっともっと息子にもより良い提案が出来るかもと思っています。
- 親が理解していても、できないこともあるからもどかしさを感じる時もあります。
- 日々の予定をこなすにあたり、やはり自身が動きやすいように選択するため、それが子供の希望とは違う場合もある。子供の言いたいことを聞き、それがやはり認めずらいもの、許可できないものもあるため。
- 小学校に入ってから、家に帰ると食べ続けてお腹回りが太り気味。こんなに食べると太っちゃうよと言ってもお腹が空いてるのにそんなこと言うなんてひどい！と怒り出す。土日はあまり動かずのんびりしていたいと言うが、意見を尊重しすぎるとますます太ってしまう。逆に家族の体調はお構いなしで何か何でも自分の行きたいところに行きたがって話を聞こうとしないこともある。宿題に関しても家に帰ってから友達と少し遊んだ後から食べ続け、ゆっくり休んでアイスを食べて、これでもかというくらいにエネルギーチャージしないと勉強に向かえない。やるからには完ぺきにやらないと気が済まず、綺麗な字が書けるまで書いては消すを繰り返して不機嫌になったり、もしくはものすごく投げやりに汚い字で終わらせたりする。
- 休みたいことがあっても、大人の事情（学校など）を強制してしまっている。
- 子供が 3 人もいて、一人一人しっかり全部は聞いていないと思う。本人には言わないが、うちの子はどうして?と比べてしまう時はある。
- 土日を含め保護者の忙しさを理由に十分に外出や多様な体験の機会をつくれていないと感じる部分がある。子どもが自分自身で育つ環境を選ぶことについては、行動範囲が狭い子どもにとって、限られた選択肢を十分に提示できない面がある。子どもの意見を聴き、一緒に考え対応することについては、保護者の忙しさなどを理由に、どこまで丁寧に寄り添えるかということに難しさがある。
- どうしても大人の都合が優先されてしまう時が多いので、私だけの時はなるべく快適にご機嫌に過ごせるように心がけている
- ものおじせず、誰でも興味をもちコミュニケーションをとれる息子に対して人見知り、インドアの自分が楽しいと感じるところに違いを感じる。笑
- 仕事をしなければ家計が回らないため、共働き。保育園に行きたくないと言われても、無理やりでも連れて行かないといけない。切羽詰まっている朝なんかは怒られなくて良い子供が自分の機嫌により、怒られている。かわいそうだと思いながらも、イライラしてしまっている自分がいる。
- まだ幼児なので常に遊びを要求してくる。家事や自分の用事とのバラン

スもあるので全てに応えることは難しい。

- まわりからの見え方を気にして、本人の要望のみを聞くとができない。
- ごはんやねんねの時間を気にして、遊んでいるところを中止させてしまっている。子供とずっと一緒にいると息が詰まるという理由で仕事を始め、保育園に預けてしまっている。けがなどの危険を考えて、ダメと言ってしまうことが多々ある。(キッチンへの立ち入りなど)
- 一人で子供をみていると、家事をしながら遊ぶ時間を充分につくりだしたり、ゆっくりと話を聞いてあげる時間をもつのが難しい時もある
- 4 歳児の母親です。共働きなので、時間が充分取れません。
- 1-3 について。中学校の内申点の基準について。適切な内申点ではないと、感じた時。誰に相談してもうまくいかないと思うから。日本全体の課題と思うし、閉じられた世界でアンタッチャブルな内容であると認識。やむなしと、容認せざるおえない状況。3-1 について。子供が、希望する選択肢は理由が曖昧で理由になってない事が多い。そのような事象が起きてしまう子供こそ、説明を、丁寧に、何回もしても、理解できず、納得しない。の一点張り。大人はわかってくれないというセリフを言う。原因は知識量が少ないので、いわゆる義務教育の勉強と、小説などからの擬似体験が必要。選択できる子供は、大人が理解できるし、きっと努力して目標に近い達成がてきだろうか、こちらが用意しなくても、すでにある進路に進むはず。4-2 について。人道的、倫理的、法律違反してない、自分の能力を、すでに理解しており、実装可能な子供の意見なら認める事は可能。子供は、無邪気に誰かの役立ちたいとか、曖昧な意見しか言えない内容なら、認める事はできない。優しく、その思いを聞き出そうと忍耐強く、じっくり、聞き出そうとしても、まともな理由が出てこないので、意見を認める事はできない。
- 仕事とのバランスで時間がない時がある
- 忙しくて、時間がなく、十分に意見を聴かずに叱ってしまうことがある。
- 子供の気持ちを理解するのが難しいため。自分自身が正解を知っているわけではないので
- 仕事しながらだと時間が足りない気がする。
- 子供が自分自身で考えてしまっている事親の言う事を聞く前に全てを分かってしまっている。
- 両親共に働いているため時間に制約がある
- 他の子がしないような事をすると注意しないといけないが直らない時がある
- 1-2 についてうちの子は運動が苦手で彼女自身困っていました。運動会に逆上がりをしなくてはいけなく、彼女の意志を聞いて運動教室に通わせ、できるようになるようにサポートしたり、足がいたがっていたので接骨医院に通わせたりしました。2-1 もまず親の考えや説明をして彼女の中で消化できるように話します。3-2 これは基本のことなので、旦那には仕事をして稼いでもらい。未就学児の下の子が大きくなるまで私が住みよい家造り(家事)をしています。
- 時間に追われている時など、大人に余裕がない時におこりがち
- 体力的、経済的に難しいときがあるため。
- 時間、場所、環境等の制約でどうしてもな場合
- スポーツや身体を動かすための公共施設が無いまたは設備が不十分。大人は週休 2 日間たが、子供は平日も週末も学校や部活で忙しい。
- 自分の体力と時間の都合。こどもが複数いて大人が 1 人のときは特に難しい。
- 子ども中心で行きたいが、全ての場面で実現できないから！！

- イヤイヤ期真っ盛りで全てを聞いてあげられないため
- 共働きで、片方は単身赴任中のため、努力はしているが時間が足りない。主に一緒に動けるのが土日のため、できる限り子供達の希望を聞いたり、取り上げるようにはしているが、限度がある。
- 成長できる環境がどのようなものか具体的にわからない。
- 兄弟関係や性差など、自分の価値観が子供達と合っていないと理解できるが、無意識に口から出てしまう。自分自身の昭和育ちのトラウマが消えない。
- 1-3 は、最適と思われる人物と親自身が繋がっていなかったり、どこに連絡すれば良いのかが、すぐにわからない。結局、自治体関連につながるが、スムーズでタイムリーなサポートを得られるかというと難しいと感じている。（子の発達相談などで感じました。）2-3 は、やはり共働きで、祖父母はじめ、時間に融通が聞いたり、すぐに受けられるサポートが受けられる環境が常日頃からないと難しい。子どもにも多少の我慢が生じる時があると感じている。3-1 は、そもそもの選択肢が実は少ないと感じている。
- 周囲の子どもができて自身の子どもができないこと（遊びなど）があると、「うちの子は劣っているのではないか」と考え、親の好みを子どもに押し付けたくなってしまう。
- フルタイムの共働き世帯のため、仕事の都合で子どもを最優先に出来ないことがある。実際、毎週一回のペースで子どもが学校に行き渋りがあった際に、毎週仕事を休んだり遅刻をして対応している。社会人として責任をもって仕事をしているため、バランスを保つのが難しいと常々感じている。
- 共働きで、一緒にいられる時間が短く、子供の自由な遊びにつきあう事より勉強を優先したい気持ちになってしまうため。
- まだまだ社会経験の少ない子どもの考えは、時に浅く、十分でないことも多いため、必要に応じて大人（親）の意見を提示し、その判断にも関与している。保護者として必要なことと思います。
- フルタイム勤務のため、営業時間に病院がやっていなかったり、ゆっくり時間を取りにくいから。
- 経済的に難しい事があるため、子どもの興味関心があってもその活動を選べないことがある。
- 1 歳なので、まだあまり子供自身の意見を聞くことができない
- 自分のやらなければならないことを優先するがあまり、子どもの話を聞く時間が取れていない。仕事や用事で親が不在にしていたり、子ども自身も忙しいので、顔を合わせる時間が短い。
- 近くに仲の良い友人や知り合いがおらず、簡単には相談しなさいと勧められない。
- 他の子ができるところを見ると、比較してしまう。時間の都合で大人に合わせてしまいがちである。
- 受験生だと遊びたい時に遊ばせるなどは常には出来ない。休みたい時は休ませてはあげたいけど、それも部活や受験なんかでそうもいかない。バランスが難しい。
- わかっていても難しい
- フルタイム共働きだと習い事などの体験機会が限られてしまう。保育園は倍率が高いので選べず、現在通っている市立保育園だと保育内容が私立に比べてやはり劣っているように感じる(私立にはあった外国人やリトミック講師の訪問など)
- 環境を子供が選んでもそこ先には、金銭的な援助が必要になるので、親

としては希望を選んだりしても叶えてやれる。とは言い切れません。子供が落胆するのが目に見えるので難しい問題です。

- 共働きでなかなか子供のために休めない。病気でも休めず十分に看病できないことがあった。
- 両親共に仕事をしているとどうしても休みたい時に休んでとは言えない。大人の都合に合わせざるを得ない世の中。社会の仕組みが子育てしながらの働き方前提になっていないから子供が犠牲になる。また子供が真にやりたいことをやらせるには教育含めて資金がないと全てを叶えることはできない。
- 下の子に手がかかることや、働きながらの育児で十分な時間が取れていない
- 両親共にフルタイムだと家の時間はオペレーティブになりがちなため
- 仕事の勤務時間から、タイミングと必要な時間を設けられない。
- 時間や余裕がないため。
- 大人の都合や家族の予定により、希望通りにしてあけられない時がある。
- 親の仕事、収入などの問題によりかなえてやらないことがあるため
- 兄弟がいると、全てをその子にだけ合わせることができないから。
- 子供自身が話したがらない。本人も何がしたいか分からない様子なため、対応が難しい。
- まだ子供が小さいから難しい
- 自分の時間のなさからイライラしてしまい親のして欲しいことを優先させてしまう。ゆっくり時間をかけて話を聞くことができない。知り合いもいないので相談もできない。
- 大人の視点で敢えて、選択した方がよい場合があると思っている
- 自分の考えている選択肢よりも多くの選択肢がきっとあると考えるため
- 学びたいことの教室が近くに無い、曜日や時間帯が合わない。
- 大人の言い分も入ってしまうため
- 出先なので詳細はまた??
- こどもと言っても一つの個性なので、そのこども自身の話を仕事があるからと言って時間を作ることができなかったり、望むことがあったとしても経済的に難しいこともあった
- 子供扱いせずきちんと説明すればわかってくれるとは思うけれど、時間がなかったり自分に余裕がなかったりして、適当にしてしまうときがある。
- まだ乳幼児で子供だけでは判断できないため。
- 高額なものの購入場面、進路決定の場面。どうしても親世代の価値観を現したくなってしまう。
- 親が忙しいので、どうしても急いで欲しい時があり、子はもう少しやりたくても我慢させる場面があります。
- 子供は学校や塾で忙しく、受験生でもないのに必要に応じて頑張らないとならなくて、忙しすぎると感じることもあります
- 子供は 2 歳でまだ言葉が上手く話せないので可能性のある回答にしています。
- わがままとの線引きが難しい。
- 保育園に 4 月から入園予定ですが、両親が働くために子を預けることも大人の都合になってしまうのではと感じるから。
- 共働きなので、ゆっくり休ませてあげられる時間が限られていること。
- 子供に主体性持ってもらいたいが積極性がなく待っている状態
- 1-1 子供は子供では？子供扱いしないがどういうことかわからず。2-1 子

供にとって一番よいことを親が決める時点で、大人都合かと。2-3 遊びたいときに遊べる時間がありません。

- 夫婦二人で子育てしているため、気持ちも体力も時間も常にいっぱいいっぱいで、子達を死なないように成長させるだけで精一杯です。
- どうしても大人の都合で動かないと行けない時・動いてしまう場合が多く、子供優先で話を聞く時間を設けたり、子供が満足するまで遊んであげるのが難しい場合が多い。
- 自身の経験から明らかに上手く行かないと思っていることをどこまで許容できるか。家計をひっ迫させてまでそこにお金をかける意味があるのか＝子供への愛情とは考えられないところ
- 話を聞く時間が足りていないように感じる。登園時間に彼らの主張を十分に聞かず、不満を抱えたまま保育園に送ることがほとんど
- 自立をテーマに子どもの意見をなるべく尊重して子育てをしていますが、子どもの意見を聞く事とわがままにさせることの線引きをどこにするかに難しさを感じています。上の子は 10 歳なので、自由には責任も伴うことを伝えつつ、なるべく自分の意思で自由に選べるように日頃から気をつけています。下の子はもうすぐ 6 歳でまだ小さいので、自己主張を受け入れながらダメなこと（危ない事や誰かを傷つけるようなこと）はダメと教えているところです。
- 子どもが 3 人いると話をじっくり聞く時間をとる事ができない。下の子優先になってしまう。
- 父親が必要だと思っていても、夫婦仲に問題があり離婚を考えている
- 周りとのつながりや兄弟がいると、100%比較無しも難しい。仕事もあり、親(仕事や会社の都合)の都合に合わせざるをえないこともある。
- 障害児なので意思の疎通ができていない
- 子どもが 1 歳なので、また自分でしゃべったりできない。限られたコミュニケーションではあるが子どもと接しながら、何がこの子にとって最善なのかを考えるのは、大人の意見や価値観に偏ってしまうなと、難しさを感じる。
- 不登校なので同じ学年の子供達と比べて将来が不安になってしまう。本人が落ち着いて過ごせる環境を(勉強、運動面含む)探してはいるが本人がなかなか行ってみたい、通ってみたいと思えるところが見つからない。仕事をしていて日曜以外はワンオペのため一人一人と十分な時間を取ることが難しい。もっと話を聞いてあげたい気持ちはあるので葛藤してしまう。
- 4-1.4-2.4-3 はなるべくそうするよう心掛けてはいるつもりだが、十分ではないと感じる。
- こちらの都合で振り回してしまうことがある。
- 忙しさを口実にじっくり子供たちの考えを聞いて話し合うということが出来ていない。
- お金の問題ではなく親の忙しさの問題。親の仕事が忙しく子供のための経験(土日体力切れのため)に行こうとなかなか動けない
- 限られた時間の中で、子供にやりたいことを選ばせるのは難しい。親が調べて厳選した中で子供に選ばせるのが有効。他人と比較することにより、自身が成長することも大いにある。
- 両親ともに仕事をしている都合上、子供の気持ちとは別に学童に預かってもらったりしている。「一緒にいたい」と言われたりするが、難しいことが多い。
- 子どもにとって一番良いことを見極めるのが難しい。宿題にすぐ取りかかれない、明日の持ち物チェックが不十分等の実際に学校生活などに支

障が出る部分を発達段階としてどこまで口を出すか手を出すか統一できていない。できていない、と感じることに関して大人の方が感情的になってしまうことあり。

- 思考が少し変わっていてマイナスに思い込みがちでトラブルになることがある。その度話を聞き助言しているが、感じるのは本人であって直すことができないので気持ちの転換ができるように声がけしている。
- 自分に余裕がなくなると人と比べてしまって、傷つけてしまうことがあると思う。また、テレビやネットの一般的な情報や平均に左右され、大切なものを見失う時があります。
- まだ4歳なのでスケジュールは親がある程度決めている。習い事は当日面倒がっても連れて行くが本当に疲れている時もあるのかも知れないと考えることがある。話し合うよう努めている。
- 社会は何でも自分の希望通りにいくわけではない。子どもの意見は聞くが、それだけで物事が決まるわけではないことも理解する必要がある。子どもの希望や都合は聞くが、子どもがかかわっている人や社会の要請、全体の都合など、多様な方面から考えて、決める。保育園や学校は多少無理をして行かせたこともあるが、結果、登園・通学のリズムを取り戻した。それでよかったと思う。
- フルタイムで働いているため、子どもが保育園、学校を休みたいといっても簡単に仕事を休めない。子どもだけが相談できるサポートは安全なのか、どこまで行ってくれるのかサポートの範囲がわからないため自信を持って子どもにすすめられない
- 子供に海外に行きたいと言われたが円安の為行く気持ちにならない。
- 仕事をしているので、遊びたい時に遊びに行く事ができない
- 学校や塾が忙しく、自由に遊ぶ時間をとれるわけではない。また、学校、塾や習い事は費用もあるため好きややりたいだけでは難しい。
- 仕事が休めないので対応が難しい
- 1-1 思わず、おともだちは出来ていたのになんで出来ないの？と言ってしまい子どもを傷つけてしまった。
- 習い事を選択する際、保護者が送迎できるか、もしくは自分で行けるか、通う場合の費用など、大人の事情を加味しないと実際には通わせてあげられないため。仕事をしていると子どものペースだけでは生活できないため。
- シングルマザー状態で、仕事が忙しく充分に向き合える時間を取れている自信がない。完璧な良い親にはなれない。
- まだ子供が喋れない年齢であるため、意思の疎通が叶わない。また、どうしても目の前の実現可能な事象が前提となるため、大人の都合が優先となる。
- 子供と思わないようにしても、考えや行動を見て、やはり子供と思ってしまう。自分の都合か、子供にとってどうかを自分で判断するのは難しい。子供の悩みについて、学校で配布されたもの以上に何かこちらから子供にアプローチするのは難しい。そしてやはり親に話したくないことは増えてきているようだ。
- 回りの環境に流されてしまう
- まだ小１なので習い事の送り迎えなどで時間のやりくりが大変
- 経済的余裕があればもっとより良くできたと思うと自分のことをどこまで犠牲にするか、迷う。
- フルタイムの仕事をしながらほぼ一人で二人の子供を育てているため一人ずつにさく時間があまりない
- 子どもにとって「一番よいこと」が何かを判断することが難しく感じま

す。現時点での子どもの「やりたいこと」が社会のルール（≒大人の都合）に則って望ましくない場合は止めます（散歩中に住宅街で大きな声で歌ったりふざけたり、歩道で自由な動きをする等）が、直接的に迷惑や危険がない場合でも、未然に親としての体面（＝大人の都合）で過剰に自由を制限してしまう場合も多く、帰宅後に落ち込むことも多いです。また、家計に余裕がないこと（＝大人の都合）による制限（習い事を気楽には始められない、親の仕事で十分には遊んでやれない、等）はどうしようもないと感じており、子どもにも少しずつ理解を求めています。子どもの学びや成長につながる場を子ども自身が選ぶには、たくさんのトライ＆エラーが必要かとも思いますが、それをさせてやれる時間やお金は確保できず、現実的には学びの場は保育園・学校に頼りきりです。子どもが習い事をしたいと言ったこともありましたが、「本当にやりたいことかよく考えてみなきゃね」と伝えたところ、そのままフェードアウトしてしまいました。Q.4 の 1.1 について、他者と比較することは、そこによほどの合理性がない限りはないようにしていますが、子どもは子どもとして扱うべきでは？と感じることは多いです。SNS や動画サイト、AI による情報が氾濫するなか、子どもの安全を守るためには、国や自治体による年齢制限が必要とすら感じます。最低限、日本語の読解力と計算能力、信用できる情報かどうかを判断できる能力がないうちは、子どもの自由や自主性、欲求を大人のそれと同列に考えて「尊重」しすぎるのは危険だと考えています。動画などはどんどん観たくなるように作られているので、特に子どもはそのシステムに巻き込まれやすく、うちの子も「ユーチューバーになりたい」と言っていますが、それを現段階で応援することはできませんし、「観たい」と言われても制限しています。子どもの意見は煽動されやすい側面があり、そのような無知と無意識につけこんだ「刷り込み」的なものとそうでない内発的なものとを区別して対応する必要があると感じています（それを区別することも難しく、悩ましいのですが…）。

- 自分の仕事や時間の都合で子供を自由に遊ばせたり、休ませてあげることができないことがある。特に平日保育園に行かせる時。
- 本人の体感する調子の悪さが、傍から見て分かりにくい時　学校を休ませる事に対して罪悪感を抱いてしまう時がある
- 子供の意見と言っても色々なので全ては認められないと思う。
- 保育園から上の子の発達について少し困り事があるような話を聞いたので、どうしてもひとりだけ座っていられなかったり、みんなと違うことをしてしまうと不安で問いただしてしまうことがある。
- 片親なので、子どもとの会話する時間が、充分に取れてなく、普段の生活でも負担をかけていると思う。夜仕事が終わって子ども達を迎えに行くと遅く時間になるので睡眠時間も短いと思われる
- 誰かと比べる事に関しては、子供は特に敏感に感じていると思う。親自身は平等に接しているつもりでも、どこかでどうしても差が出てくることがあると思う。
- まだ小さくて話せない為
- 必ずして個性として捉えることが難しい。共働きのため、遊びたい時に遊び、休みたい時に休ませたりはできず親の都合で決めている。子供が主体的に選べる場所が、小学校、放課後クラブ、保育園にはないか、少ない。
- 1-1 学校生活や日常生活の中で、つい、比較をしてしまいがちになってしまう。2-3 塾やスポーツクラブに通うことが優先になってしまう。4-1 どうしても、子どもの意見優先ではなく、親優先になってしまうことが

ある
- 経済的な理由
- 子供が不登校になり始めた時、なった時、不登校に慣れてしまった時、そこから一歩の進み方、その都度の相談相手が子供と親それぞれに必要だと思いました。そういう時の子供の選択肢として何かがあれば導けるかな、とも思いました
- 息子にはＡＳＤの特性があるが、休みの日は毎日外出して外食しなければいけなかったり経済的なところではかなり厳しい。また、親としては休みの日は休めず両親ともに疲弊している。先日外出先で遊んでいたところ近くにいたこどもに息子が頭突きをしてしまい、相手の保護者から『親のしつけがなってない』『その子にもちゃんと謝らせろ』などと言われ平謝りするしかなかった。
- 年齢的に、子供を真っ向から支える体力や身体能力が衰えてきた。
- スマホやゲームの対応について、犯罪などにまきこまれないためにも、また健康のためにもルールを作っているが子供は納得しない。知らない人とやりとりしない、一日２時間まで、寝る時間は守るなどは子どもだけで守るのは難しい
- 子供がまだ１歳だから
- 学びの機会の少なさを感じる
- 共働きなので、厳しい
- 全てを子供の好きな遊びや食べ物やスケジュールにすると、健康を守れなかったり一般的な教養が身につかないのではと心配になるので、どこまで子供の意見を聞き入れるかのバランスが難しい
- 大人のやりたい事や良いと思ったことをさせてしまっている。
- ややもすると、自分の意見を押し付けがちであるため。意識しているが。
- 幼児がおりますが、両親共にフルタイム勤務のため、大人の都合で日々のスケジュールを管理してしまっているので、子どもに対して申し訳なく思う時があります。
- 月齢的にまだ幼い為、大人の都合や予定を優先して行動しがちになる
- 心身ともに少し疲れていたりして、一日だけでいいから学校休みたいと言われた時に、仕事のことを考えると、体調不良になったときのために有給はとっておきたいし、なかなか休ませてあげられない
- 1-1 については、行動がゆっくりな事を心配して集団生活の中で周りの子について行けるようにと、つい言ってしまう。実際保育園の中でも活動で最後になることが多かった。今後も小学校中学校と、集団生活から離れる事はないため、どうしても周りの集団を基準にした声掛けになってしまう。2-1、2-3 についてはフルタイム共働きで、どうしても親の仕事に合わせた時間の使い方になってしまっており、心苦しく思っている。
- 休みたい時に休む。とするとどうしても休みが優先されてしまう。また、塾や部活動といった家庭以外や、塾のための勉強といったことに時間を割く必要もあるため、話しは聞き最大限意見を聞くが、すべてを認めることは中々できない。
- 思春期に差し掛かり、まだ対応に苦慮している。まだまだ子どもなので本人の判断に委ねたい部分もあるが心配。
- 2-3　子どもがやりたいと言った習いごとについて、ある程度の月謝も払っているため、「休みたい時いつでも休んで良い」とはよほど体調不良ではない限り言えない部分。コロナで友達と遊ぶことが制限されていたため、経験が少なく慣れていません。親も介入して約束や見守り等をしなければならないので、いつでも遊んでおいで！と言えない現状があります。4-1　子ども一人ひとりの意見を聞く時間は、親１人では十分と

は言えないかもしれません。

- 自由にさせていると遊んでばかりいる。
- 2-1 子供がまだ 3 歳、1 最近であり自分で考えられる歳ではないため、どうしても親の主観が強くなってしまうとは思う。2-2 様々な知る機会や体験する機会を与えようとは思っているものの、時間や予算、物理的な制約があり難しいこともある。4-1 仕事による時間的制約が大きいと感じている。
- 子供はやりたくても危険があったり、制限があったりしてできない（出来たとしてもさせられない）ことがある。また、費用等がかかるものについては他の必要なものと比較し、優先順位をつけざるを得ないので、子供が自由に選択するということは難しい。
- やりたい事は金銭的、時間的にむりな事がでてきます。やりたい時にやらせたり休ませたりこちらも仕事の都合などで全てに対応できません。よく話を、聞けているか十分にと言われたら自信がありません。
- 全てにおいて、子どもの希望を叶えたいが、この年齢には試練がたくさんあった。東日本の震災で外遊びや宿泊、飲料水や食事の制限や不安があった。やっとと思えばコロナによりまたしても生活全般の制限。乗り越えた先には、自分たちの年齢より下への手厚い助成等を目の当たりにした。自分たちの年齢はなんだか薄ペラい様に思えた。
- すべてを聞き入れると癖になるので難しい（娯楽など）
- 時間や金銭的制限がある。子どもの視野や経験不足から子どもが選択はしても範囲が狭い。
- 双子、ワンオペも多く、個々に対し十分と言えるほど時間を取ってあげられない。時間に追われることも多々ある。
- 親としては子供扱いをしていないつもりでも、子供は子供扱いされていると思っているようで、よく怒られます。例えば、子供のちょっとしたミスが可愛いと思って、笑ってしまったら、笑わないでと言われます。子供からはよくなんで?なの？と聞かれます。自然のことだったり、社会のことだったり、結構的をついたことに疑問を持っていて、我が子ながらすごいなと思いますが、その疑問に対して、子供から動くことはないので、もったいないなと思います。
- 子供の性格を個性と認めてあげられる事が難しい場面もある。(学校へ行きたくないと言う時など)また、私自身が幼少期に親が忙しくあまり外出しなかった為、出不精なので十分な機会を与えられていないかもしれない。
- 時間や金銭面の制約で譲れない場面がある
- 仕事で毎日ではコミュニケーションが取れなく、意見を聞くことができていない。
- 子供扱いして助言してしまったりできることも手伝ってしまったりやってあげたりすることがある。大人の都合や予定に合わせてしまうことがよくある。
- 仕事をしている為、話を聞く時間が限られている。
- 時間がない
- 平日はフルタイムで勤務しているため、家庭での時間の確保が難しいため。
- 親に余裕がないから子供にキレてしまう。子供 4 人目妊娠中だから、旅行も行けないし、どこ行くにも高過ぎる。習い事も高い
- まだ 5 歳なので、本人の気持ちを正しく言葉で表現することが出来ない為、大人の方が子どもが何を思っているのか読み取る力が問われるので、子どもの本心と親の受け止めにズレがないようにする事は、とても難し

いと日々感じています。共働きフルタイム勤務のため、本来なら子どもが保育園を休みたい気持ちに寄り添ったり、体調不良時に充分な休息を取らせないといけないのに、親の都合で完璧には出来ていない部分がある。

- まだ小学生なので、どうしても親の意見でコントロールしてしまう
- ゆっくり話を聞く時間を作るのが難しい
- 共働きでの子育てはどうしても大人の都合に子供が巻き込まれる場面が多々あるため。また、小さい子向け公園は沢山あるがある程度成長した子供向けの公園が全然ない(あっても禁止項目が多すぎる)ので大人が遊ぶ機会を作らないといけない環境になってきているため。
- 中度の知的障害(3 度)の判定を受けており、他のお友達と比べて言葉の発言が遅く、保育園等で、トラブルが生じることもあります。療育のサポートを受け、なんとか自己肯定感を損なわずに今のところ年長までこれましたが、小学校、中学校、高校と上がっていくのに、安心して個性を認めながら、サポートを受けつつも、社会に適応していくことができるかどうか、不安な面もあるためです。
- 子供が持ち合わせる情報には限界があり、ものにより成長のためには、ストレッチの目標が必要と考えています。その目標設定の例示として、身近な兄弟や友達などを出すことがあります。
- 本人が言う事が全て出来るわけではないため。
- 家族、学校、学童、及び交番以外に相談できる機関を把握できていない。また、子どもへの説明が難しいと感じるため。また、子どもにとって一番よいことを考えて行動するよう意識しているつもりだが、子ども自身がらどのように感じているかはわからないため。
- 小学校以外で、子ども同士で関わる場面を作ってあげるのが難しい。児童館で完全に子どもだけにすると、仲間はずれのようなことや、お菓子のトラブルなどがあり、毎日は利用できない。大人の介入が少しある、守られた場がない。自宅に友達を呼ぶ、ということも難しい。
- 子供が気乗りがしない時でも半強制的に習い事に連れて行くことがあったりする。子供の意見があっても大人なりに先回りして考えてしまい 100 パーセント子供の意見を反映するというのは難しい。
- 共働きのため子どもの話を聴く時間が十分に取れない。
- 子どもの話を聞くこと、たくさん一緒に遊ぶことの重要さはとても理解しており大切さもわかるが、家事をしなければいけなかったり生活していく上でやらなければいけないことがたくさんある中で、子どもが満足するほど十分にできているかと思うとできていないと感じます。
- 他の人と比較するようなことは言わないようにしてるつもりだが、言わなくても伝わるものがあるかもしれないし、感じることもあるかもしれない。良い悪いではなくてもどうしても他の人と比べて見てしまうことがあるので気をつけなければと思っている。
- 子供の意見は尊重したいが、間違っている時もあるし、こだわったこともあるので、色々な意見、考え方があることを教えている
- 子どもが同年代の他の子ができていることができていないと、発達に問題があるのか不安になってしまいます。例:歩く、単語を話す
- 時間がなかなか取れない
- サポートしてくれる大人が学校の先生しかいない。言いたいことを聞いても話してくれない時がある。また必要に応じて対応するの必要に応じては、大人の意見が入ってしまうため、子どもからしたら、意見を言っても無駄と感じてしまうこともある。
- 一方全てを叶えることは難しいため、バランスが必要である

- 大人の都合で振り回してしまったり、わたし自身がイライラして怒ってしまうことがあるから。
- 勉強時間について、時間をこちらで設定しないと習慣化出来無いため。それは一方で、子どもが 100%やりたい事をやりたいタイミングでしている訳ではないと感じている
- 2-1 子供自身が選ぶためには選ぶためのある水準の素材や環境を用意することが必要で、要求水準が高いと折り合いが難しい。3-1 上記と同様。選ぶためには選べるような状況、健全な本人の意思を育む責任が親にあるから。4-1 意識して話を聴くようにはしているが、共働きフルタイム勤務かつ、兄弟や家事に時間が割かれるので、(もっともっと話を聞いて対話したい)と常々思っている。
- ・他人との比較。個人的な考えですが、現実的に社会では「他人と比較されること」が当たり前となっている。そんな中、綺麗事だけを述べて「個人の尊重」などと謳ったところで、自分の子供たちが社会を生き抜いていくことは到底できないと考えるため、適切に他人との比較を提示している。※なんでもかんでも、誰かに勝る必要があるなど、過剰な要求や提示はしていない

  ・子供に学びの環境を選ばせる。子供はもちろん子供なので、何かを選ぶために必要な判断材料も現時点で十分に備えていない。よって、未就学の子供たちには選択肢は出しつつも、ある程度大人が熟考の上で選択肢を絞って提案している。子供に自由に選ばせるとは、履き違えてしまえば「大人が何のアドバイスもしない」と同義になっている方を見かけ、懸念している。
- 両親ともに仕事をしているので、上記 3 点は、大人の都合を優先せざるをえない場面が多いと感じて悩んでいます。とくに 3-1 は、保育園や学童の選考の時に感じていて、通いたいところがあっても、選考によって本人や親の希望するところには入所できなかったり、本人に合っていない環境だと思っても、転園などが難しい状況であると感じます。
- 忙しく時間が取れない。話を誘導して短時間にしてしまう
- 親戚などが近くにいない核家族のため仕事や親の体調、金銭的な面により親の都合に合わせて行動しなければならない事は多々ある。が、リモートワークのため子どもと過ごす時間がたくさん取れるのは非常にありがたい状況。
- 子どもにとってよいと思うことをやるために、自分はある程度無理をしている事があるから。
- サボりか心が疲れて休みたいかの判断が難しい時があると思う
- ３人子供がおります。それぞれにママー！と呼ばれると、どうしても１番下の子を優先してしまう。１番年上の兄弟に、それくらい１人でやって欲しいなと思ってしまう。また、１番年上の兄弟には色々と期待してしまう。
- 共働きで、帰宅後は家事に追われて、子どもの話を十分に聞くことができない
- 子供のやりたいことを尊重したいが、ゲームや YouTube 視聴などを長時間やりたがるので悩んでいます。外で遊んだりもして欲しいし、早く寝て睡眠時間をしっかり摂って欲しいとも思います。
- 中々自分の意見を上手く表現できないなと感じているので、こちらからの提案型が多い気がする。そのため、提案がハマらないと色々考えたのにと思ってしまうことに少し疲れる。
- 子供の事を比べて出来てない事を指摘しがちである。
- ゆっくり話す時間がない。

- 実際、お金やその他の理由で経験させてあげられることは結構限られる
- 説明が面倒な場合や大人の都合によって、子供の意見などをコントロールしようとしてしまうから
- 子どもの全ての要求を受け入れる事が良いとは思わない。我慢する事や周りと協調性を保つ為には、家庭でもある程度親の要求を理解する事が必要
- 遠くの場所に行きたがったりする
- まだ子どもが小さい(4 月から幼稚園年少)ため。
- 自分が働いている時間帯を除いた時間で対処しようとすると、時間的体力的に制約がある場合があるため
- 人はどうしても相対評価で考えがち
- 共働きのため、子供が疲れていると感じられる時でも保育園に行ってもらわなければならなかったり、遊びたい時期であると感じていてもフルタイム勤務のため帰りが遅く子供がたくさん遊ぶ時間を設けてあげられていないと感じているため
- 子どもの意見をよく聞き、希望を叶えたいが、仕事や用事の都合・スケジュールによってそれができないことがある。
- ひとり親だか、支援を増やしてほしいと思うことが多くある。児童扶養手当の年収制限の撤廃など、経済的に支援の幅を広げてほしい。
- 安全を考えるとき、現在の子供を取り巻く環境では子供が選択することが難しいように思う
- 金銭的な理由や共働きのためなかなか子供の希望通りにはいってないだろうなと言わなくても感じる時はある。例　　ディズニーランドに行きたい、旅行に行きたいなど。
- 理由が幼いことが多い、合理性が無い、感情的になり話が通じない、色々ありますが、子供扱いしてしまっているのはあります。こちらも大人になりきれない所があるのも反省してます。
- 仕事が忙しく、即応するのが難しい
- 1-1 どうしてもきょうだいでは比べてしまい、言い方には気をつけますが、そろそろこれはできるようになったほうがいいよということは伝えるようにしてます。例)お友達のおうちでのマナーが悪い時に、おねえちゃんは言わなくてもやらなかったよ、いつもママが言ってるよね、という感じで。
- どうしても理解し難い行いに対して冷静に子供の声を聞くことが出来ないこともある。学びについては子供からの要望にはなるべく応えるようにしてはいるが、いざやらせる時になると子供自身が躊躇してしまったりすることがある。また私の言動から知らずの内に子供の自発的な行動を妨げてしまっているかもしれない節もあり気をつけたいと思っている。
- 1-1 について、『周りの子はもっとできるよ、勉強してるよ』等、どうしても周りの子供たちと比べてしまうことがあります。3-1 について、まだ子供たち自身で選択できる事が少ないため、習い事や過ごし方等、大人の決めた事をやってもらうことが多いように感じます。
  無意識で比較してしまうこともある。環境、経済的理由から意見を認められない場合もある
- ご飯や移動などスムーズにするためについ友達や兄弟でくらべた声がけをしてしまう。大人の都合に合わせてやりたい事を途中で止めたり後回しにさせてしまう。
- サッカーできる公園が少なすぎる
- 行きたいときに仕事などで連れて行ってあげられない。休日診療はすぐ

に空きが埋まり連れて行くことができない。

- 兄妹や従姉妹との違いを本人が必要以上に気にしているのは、親が一因でもあると感じる
- スマホの利用など、いくらルールを設けても守らない。意見の擦り合わせが上手くいかないなど、どこまで子供の意見を組み込むか、難しい面が多分にある
- 金銭的または会社の休暇の都合等で、全ての要望に応えることはできていないように思うので、そういう場面において。
- 子供がまだ言葉数が少ないので自分の意思を大人に伝えることが不十分であるため、なぜ出来ないのか、親のお願いしたことを出来ないのか汲み取るのが難しい。子育てに関してサポートを気軽に利用できる場が分からないので相談がしづらい。
- 社会の仕組みとしてどうしても大人都合で決まっているルールなどがあり、私としてはそれが子供にとって良いと思っているが、本当にそうか分からない場面がある。
- 仕事の都合が関わってくるため、休みの日にも対応せざるを得ない場合がある。また、自動車を持っていないため自由に行ける場所が限られてくる。
- まだ幼い子供なので、尊重しつつも本人の意思とは関係なくやらなければならないこと(生活習慣)が多くあり、全てにおいて納得してもらった上で生活を回すのはとても難しいです。
- 時間があまり取れず、体験の機会をなかなか設けられていない。
- 周りに頼れる親族、友人がいない。
- 自身の仕事や子供の学校の授業との兼ね合いから、いつでも遊んだり休んだりできるわけではない。
- 親の生活に時間的に余裕がなく、子どものために考えたりする時間、心にゆとりをもって接する時間がもてない。
- なるべくこどもの意見を聞いたり、こどもに自分で考えさせたりしたいと思っているが、日々の慌ただしさに追われて急かしてしまったり、意見を押し付けてしまったりしている。
- ゆっくりと話を聞く時間を準備できない。
- ないです。
- 共働きで子育てしており、親の都合で休みの日などに子どもが行きたいところに行けないことが多いです。
- 共働きで子どもの話相手や遊ぶ時間を子どもが満足するほど確保できていない。子どもが片付けや本読みをしたがらない時、つい〇〇ちゃんはやってるよなど、周りと比較した言い方をしてしまうことがある
- 大人の都合があり、子供が遊びたいタイミングで遊びに行くことができないこともある。
- 仕事など様々な要因により、大人が”時間的、精神的な余裕”を確保することが難しいことがあるため。
- 仕事をしているので充分に時間を取ることが難しかったり大人都合になってしまう事が多々ある。
- 子供の全ての感情に気づくことは難しいため、表面上子供のケアをしているだけでは足りないので気を遣っている。
- 共働きのため、子供と接する時間が限られ、子供が公園に行きたいと言っても行けないときが多い。年長?小学校低学年の子供１人で行かせるのは心配。
- 子ども自身、どうしても隣の芝は青く見えてしまうため、お友達が持っているおもちゃややってきた体験を羨ましそうに話したりすることが

あります。ただ家庭の事情で買えなかったり体験できないことに差が出てきてしまうこともあるため、子どもに均等な機会を提供できると嬉しいなと感じました。

- 仕事の都合でどうしても親の都合で合わせてしまう。
- 仕事をしていると難しいと感じる
- 例えば遊ぶ行き先について、子供の意見や希望は尊重したいが、そのまま子の思い通り実現することは時として難しい。また(未就学児のため)判断力は当然無いため、行くか行かないか、行ったとしてもどこまで希望通り遊ばせたりするかは時間含めて判断は大人がコントロールすべき。もちろん時間は事前に伝えておくし、危険のない限りできるだけ遊ばせる意識の下で遊ばせたりしている。年齢や個性に合わせた子供の意思尊重の方針が望ましいのでは。
- 大人の仕事の都合になってしまう事がよくあるので。まだ 6 才なので、子供扱いしてしまうので、今後気をつけていこうと思います。
- 仕事していて時間がない
- 共働きのためどうしても保育園に行かせないといけないことがあるため。
- 子どもの気持ちは尊重しながらも、最終的には親の意見や都合で環境を与えてしまっている。
- 自身にとっては十分かと思っていても、子ども本人にとっては十分に対応できていないかもしれないから。
- 習い事など色々やらせてあげたいが、経済的に難しいことがある
- 仕事や保育園が休みの土日に、子供が公園に行きたがり遊びに連れて行ってあげたい気持ちはあるが、夫が土日も仕事でワンオペのため、自分の体調や気分次第では連れていかないこともある。
- 受験に際して、将来の見方が違う点
- 親が子供に対して提案できる知識が足りていない、余裕のなさが子供に影響してしまってると感じています…
- 子ども扱いしないようにすることも大事だが、現に今は子どもであり子どもとして扱ってあげないといけないことも当然にある。その境目が微妙な場合がある。
- 自身に余裕がなく、子どもの意見を十分に聞く機会を作れずに、指示をしてしまうことがある。子どものためを思って助言しても、子どもに受け入れられないことがある。子ども自身の問題として、子どもにゆだねすぎると、放任（ネグレクト）にもなりかねないため、対応が難しい。
- 子どもに主体性を持たせることは大事だが、例えば、ゲームばかりしたいや自分の好きな食べ物ばかり食べたい、というような場合も多く、必ずしも子どもの主体性を優先すべきではないと考える。親の過干渉と無責任のバランスが難しい。
- 子どもがやりたいことなどを 100%叶えられているか疑問。
- 保護者として相談やサポートすることは容易いことですが、サポートしてくれる大人に繋ぐためにネット検索等かなり時間がかかる。実際、本人がやりたいことをサポートするために、様々な団体に連絡を取り体験をさせてもらった。子どもとその方の相性もあるし、体験にはお金もかかる場合もある。子どもが（先生等と相性が合わないのに）気をつかっていないかなども様子を見つつ、子ども本人が納得するまで話し合いながら進めた。親として、時間とお金がかかった。
- 2-1 中学受験させたこと（させること）。4-1、4-2 どうしても主張の強い下の子の言い分ばかり聞いてしまいがち。本当は穏やかで理解力のある上の子の言い分をもっと聞いて、尊重してあげたい。

- 場所や時間的な制約で本人の意向に沿えない場合、短時間で理由を説明し、納得させる必要があるため。
- 共働きで親も子供も家でなかなか時間がない為。無意識に兄弟、また自分の子供時代と比べてしまう為
- 時間がなくて、ちゃんと聞いたり納得してもらうことは難しいです。
- 日々時間が足りないので、その時間を十分に取れていない気がする。
- 1-1 どこまでが子どもに任せることができるのか、という判断が難しく、本人も親を頼る場面も多いため。妹がおり、姉としての自覚も芽生えつつあり、そこをモチベーションにしている部分もあるから。2-3 無尽蔵に遊び続けたい、となった時に、物理的に付き合い続けることができないケースもあるため、そういう場合は相談している。
- 学校の先生が嫌で学校に行けなくなったり、毎日先生が嫌だ、と言いながら通っているからです。
- 子どもが二人います。してはいけない、と思っていますが、二人を比べて優劣をつけるような発言をしてしまうことがあります。例えば、〇〇ちゃんはもう靴履いてるえらいねー、とか。そうするともう一方は急いで靴を履いてくれたりします…。
- 子どもの頃を思い出しながら接するようにしているが、大人になるまでの経験のなかで、子どもと同じ視点での判断は難しいから。具体的には、熱いとわかっている沸騰した鍋を、子どもが触りたいと言ってさわらせないように、リスクを内在することに対して、どこまで子どもの意見を尊重するかは難しいし、社会的にみても、それらがごちゃ混ぜになって、子どもの意見を尊重するが完全善と一方的に言われているのは、おかしいことだと感じています。
- 自分が忙しいときに十分に聞くことができない場合もあるため。
- 6 年前に急病で主人を亡くし、フルタイムで仕事をしながら 1 人で娘を育てているので、充分に娘と向き合う時間も心の余裕もないのが現状。
- 子どもにとっての最大限の利益とは何かは常に大人の持っている価値観に基づいている可能性があるため。
- 自分の過去の経験や価値観に偏って誘導していないか？が気になります。アドバイスをくれる人の価値観と保護者の価値観がずれていた時に、保護者が拒絶してしまうのではないか。習い事一つとっても、本当にやりたいことを引き出せているか、体験機会に縛りをつけていないか。
- Q3 が 4 つ以上選択ができません。（実際は 10 個選択したかったです）日々の生活が忙しく、平日に余裕をもってじっくり子どもの話を聞いたり、対応したりする時間が限られている。今年度は公立小中学校の土曜登校の回数が減り、休日の過ごし方には以前より余裕を感じることができている。子どもが不満を語る時、親（私）がすぐに解決策を提案してしまう。子どもはただ共感して欲しいだけの時もあるようだ。
- 2-3 の設問に対して、ゲームを好きな時に好きなだけやらせることは良くないと葛藤する。
- 狛江市内で、小さい子どもが自由に遊べる遊具のある公園が少ないと感じる。また、学びたいと思うことを学ばせたくても、狛江市内だと選択肢が少なく、遊び場も含めて、市外に出ている人が多いようです。裕福な家庭は、家や車があるかもしれませんが、わが家は車がないため、河川敷で走り回るくらいかなと考えていますが、裕福でない家庭にも、もっと選択肢があったら嬉しいです。
- 時間がないや、効率的になどを言い訳に十分に接する時間をつくれていない。

5 -①　調査結果（18 歳以上の大人）　※18 歳未満の子どもを持つ保護者

【Q6.（仮称）子ども条例ができることについて、率直に思うこと（良いと思うこと、心配に思うこと、条例の内容についての希望など）ありましたら、教えてください。】

（自由記述一覧）

- 意識を高める
- 条例の内容については良いと思います。それに付随して、条例内容を遂行するためのサポートやフォローがセットになっていると、できる人と出来ない人の格差がなくなりより良い気が致します。
- 条例ができることが大事なのではなく、それが本当の意味で、こどもやこどもを取り巻く環境に活かされることが大事だと思います。
- 子供を持ったことは、幸せである反面、不安な世の中であることも日々感じでいます。子供の数だけ悩みもあるため、それに対して、子供にとってプラスとなり、のびのびと過ごす手助けとなる条例であればよいと思います。逆に、条例で逆効果になることは決して避けなければいけない懸念事項でもあると思います。条例によって、親が子供を腫れ物にさわるように育てるような内容は避けなければなりません。子供が安心して成長できると同時に、親が前向きに子育てができる条例でなければならないと思います。
- 子どもの命や尊厳が守られることは大切で、社会全体がその認識を共有することで虐待の防止になるなら必要だと思う。だが単に条例を作っただけでは、子どもがその条例を変に受け取って、子どもの意見は大事なんだから、自分にとって不都合な大人の意見は聞かなくて良いと過大解釈して、大人の言葉に耳を貸さなくなる危険もあるように思う。学校などで子どもには、この条例の意味をしっかり伝えた上で、意見は聞いた上で子どもの健康や将来の為に伝えている大人の意見も素直に聞かなければいけないことをセットで説明すべきだと思う。
- 子供の意見の尊重が行き過ぎないか不安
- 自分も子供に対しての考えを見直せると思う。
- 子供が元気にやりたい事、育つ環境であればそれで満足です。もし、防ぎたいですが、その子供に危害があるようであれば法とか関係なく罰してほしい
- 子ども条例の制定で、障害の有無や家庭環境、不登校であるかどうか等によらず、すべての子どもが等しく個として尊厳を守られ、地域社会の一員としてその声を大切にされながら、自分らしく学び育つ機会を保障されるまちづくりがより一層進められていくことを願います。
- 子供を守れる条例ができると良い。逆に子供や縛るようなルールであればいらないかな。
- 子供が笑っていられる世界であって欲しい。人間関係がどんどん複雑になる中、基本は親、学校では先生、しっかり子供をみてほしい。
- とても良いと思います。今でも、この文章を読んでいてハッとすることがあります。大人が一度立ち止まって考えるきっかけになると思います。
- どのようなものなのかがよくわからないので何ともいえない。
- 市として子供を大切にしようという動きであるなら、子供の遊び場や居場所作りに力を入れてもらえると有難い。(キッズルーム付のカフェやファミレス、アミューズメント施設など、親も子供も幸せになれる場所がほしい)
- 子ども条例という言葉を今回初めて聞いたのでまだよくわからない。
- 安心できる要素が増えると思う。
- 子ども条例を作って、子ども家庭庁の血税を使わないで欲しい。子供の

いる家庭の市民税を安くして欲しい

- 市全体で共有できるのはいいと思う
- 提示されるとより意識が強くなるので良い時思います。
- 大人自身が子どもに対する姿勢を変えるきっかけになればと思います
- とても素敵な条例だと思います！この条例を作るにあたって子どもたちも参加し、意見を聞けるといいなぁと思います。
- 真新しいことではないかもしれないですが、条例をきっかけに社会全体の意識が高まればよいと思います
- 子供の権利、大人の都合で、とはなんですか？まだ何も分からない子供に権利とかやめて頂きたい。子供をちゃんとした大人に導くことを邪魔するとんでもない条例だと思います。
- 一括りに子供と言っても、年齢や環境によって必要なものは変わってくると思います。取り組みは素晴らしいと思うので、目的に合わせて柔軟に決めて頂いたら。
- 子供が伸び伸びと育つ環境を促進するような条例であれば良いと思う。
- 良い点。理念はとても良い事。実現すべき。実装案は、朝日新聞などに採用されるような知識が広く、深い、実績のある人に参画してほしい。過去の事例など、うまく実装できているモデルケースを参考にできるようにしてほしい。費用は莫大に必要と思うので、もし、私が捻出できるならしたいが、二人の子供を成人にできるかどうかギリギリの生活費なので、不可能。住民税や、国からの助成金で何とかするしかないのか？トランプ大統領が寄付して貰ったような金額が理想であるが。
- 子どもがそれぞれ自信を持って生きられるように、そして助け合いながら生きていけるような社会になっていけたらとおもう
- 差別が無いことも重要ですが、色々なチャンスが公平に訪れるような仕組みを作って欲しいです。
- 子どもが安心して生活し、大人に見守られながら、学び、成長できるようにしていくためには条例は必要なことだと思います。社会でも家庭でもそのことを心に受け止めながら子育てをしていきたいです。
- 具体的な中身が分からないので何とも言えません
- 条例をつくるのはよいと思いますが、ただ決まりをつくるだけで満足するのではなく、実際の施策の方が大事だと思います。狛江市に限らず、どうしても議会とかを見ていると条例をつくることに注力しすぎな感じがします。それでは市の職員の皆さんも条例をつくるだけで疲れてしまうのではないでしょうか。個人的には学校の長期休みのとき、学童のお昼が配食で有料でもよいので、お弁当づくりから解放されてほしいなと思います。
- 子供第一に考える事はとても重要だと思います。親のエゴではついてこないと考えています。「子供達の意見や尊重を確りと考えて欲しい」事を望みます。
- 困った時の連絡先が書いてあることは分かりやすくていいと思う。
- 「子どもの意見の尊重」のために、子どもの素直な気持ちを、ひろくきちんと聞ける機会を十分に作って欲しい
- 子供ファーストで考えてほしい。子供が地域に増えるようにしてほしい。
- 子供条例ができることはいいと思います。前にスクールバスを待っていたら殺傷事件が起こったことを覚えています。あのような事が起きないよう。不審者を捕まえるための対策などもできたらと思っています。狛江でも老人が自宅に押し入られなくなった事件が起こりました。今どこにいてもなにか恐ろしいことが起きる世の中なので。３は徹底してほしいです。

- 機能するものであれば良いのではないかと思う
- あまりよくわかっていないのが率直なところ。子どもに制限がかかりすぎず、のびのび成長していく一助になるのなら、良いと思う。
- 各家庭の特に金銭面が原因で学習環境が変化してしまうことのないようにしてほしい。
- こども同士のコミニュケーションにおけるトラブルはどうしても仕方ないが、そこから人を傷つけたりいじめに発展してしまうことがどうしても少なからずあると思うので、なぜ人を傷つけてはならないか等の道徳に関する授業をしてほしい。
- 子供は皆が安全で健康かつ、人権が守られるべきだと思う。例え条例を悪用する者が居ても、親の保護下にいるべき一定の年齢までは社会にも大人にも守られるべきだと思う。
- 市政が全体として子育てに取り組む、その指針となれば良いと思います。標語だけに留まらず、実際の施策や行動に移すことが、重要だと思います。
- まわりの人人の協力や困った細々な事の相談窓口の設置。受付時間を大きく延ばす。また、そういった情報の展開に力を入れて欲しい。相談窓口の人の人数を充実化にお金を使うようにして欲しい。
- 全ての子供が食べるものにも困らず、虐待などされずに育つ条例などが出来て欲しい。ただ必要以上に甘やかしたり、過度に子供の競争心などを除外するような条例は不要。子供にとって競争心などは勉強や運動で多少は必要であり、最近は運動会などでも順位をつけない勝ち負けを決めないやり方がかえって、子供にとって良くないと思うし、子供が残念に思っている。
- どんな効果があるのかピンときていないけれど、条例を根拠として具体的な政策や公園等の整備、保育者や先生の補充(ゆとりある応対ができるよう余るくらいであってほしい)につながると良いと思う。公園や、ベンチなど少し休める場所が中心地以外にもさらに増えるとありがたい。
- 非常に良いと思うが、子供を持たない人へまでも含めて周知が行き届くのか甚だ疑問。策定するだけのエゴにならないかが心配。
- 権利は当たり前にあっては良いが、権利をふりかざすような子どもにならないようにしたい！
- 条例に従わないと違反扱いにされるとそれはそれで縛られると困る。
- 埼玉のように現実的に「子供だけ登下校・公園・おつかい・留守番」など現実的に全て排除が厳しいようなものが含まれないか心配。もちろん放置子を減らすための取組などは必要だとは思うが、その線引きなどは慎重に考えなければならないと思う。
- 子どもの数が減り、子どもと触れ合う機会が無くなった大人も多いため、大人中心の社会になりつつある中で、子ども条例の制定によって意識を変えていくというのはとても良いことだと思います。
- 一定の基準や規範が定められることは良いことだと思う。ただ、条例だけ作って、守られると期待するのではなく、どの子にも適切に運用されるシステム作りが大切だとも思う。
- 知らない取り組みだったが、良いことだと思う。
- 子ども条例を作ったところで、アクションが変わらなければ何の意味もない。行政にありがちな、作って満足して中身が何も伴ってないものにならないようにしてほしい。
- 良いと思います。子供達から学ぶことも多いです。
- 条例の内容が分からないです。
- 子どもファーストな考えは素晴らしいですが、当然のことなのに、実は

出来ていない社会だからこそ、必要になったものであることを振り返る必要があるかと感じました。その社会の原因は国と企業だと思っています。一番小さな行政・福祉単位の各自治体が色々皺寄せを受けて、創意工夫をしても限界があると感じてます。この条例を作って、はい終わり、ではなくて、たとえば勤務先企業に提示することで、何かしらの親側が育児のしやすいメリットを教授できるなどに繋がれば、親側にも、そして市側には育児しやすい自治体として価値も上がるかと思います。条例を有効性実効性のあるものに繋げていける様に、長期的、継続的な取り組みを期待しますし、私も協力できるものはしたいと思っています。

- 子どもが安心かつ安全に室内外で過ごせる環境の整備を求めます。例えば、歩きタバコ、ゴミのポイ捨て、騒音等の厳罰化などです。選挙カーを使った選挙運動も時代遅れでうるさいだけなので、見直しが必要と思います。一子育て世帯からすれば、子どものお昼寝の妨げにしかなっていません。
- 取り組む事は良いことだと感じています。普段からこのような事に意識をしている、関心を持っている方には響くと思うが、特に届いて欲しい方(またその家庭の子ども)に対してもどのように周知していくか深掘りしていった方がいいと思います。ただ条例をつくるるだけならばあまり意味がないので。また差別がいけない事の意味について等、学校や家庭、地域も巻き込んで子どもと大人(色々な立場にある人)が意見交換しながら学べる機会があると良いと感じています。大人でも難しい事ですので。
- 条例があることで安心してもらえるものであってほしいです。子供達自身も共通理解されるよう学校などでも知る機会があってほしいです
- 子供の育成に感心がもたれることは有難いです。今回のテーマとは違うかも知れませんが、貧困や共働きで、子供の食事内容が低下していっていると感じるので、学校給食が抜本的に改革されることを望んでいます。無償化も有難いですが、より大きな財源が配分され、食事の大切さ、健康に食べる事、楽しさを子供のうちに学べると、教育全体への好影響があると思います。
- 子ども条例ができることは素晴らしいことだと思います。条例を子どもを持つ持たないに関わらず、すべての大人がその内容を知る機会を作って欲しいです。
- 条例も設けることによる効果
- 職員の皆様におかれましては、条例の制定作業お疲れ様です。こどもの権利条約や東京都および他自治体の状況を踏まえると、非常に意義のある取り組みとおもいます。本条例は理念条例だけで終わることなく、条例をもとに子どもの権利や価値が実際に守られる仕組みであって欲しいと願います。例えば、[図書館における子どものコーナーでは、子どもの声が許容される][こどもが優先されるべき公園で大人が子どもを押しのけるような振る舞いをしない]など、実態が伴うように市民にも広く認知してもらえればと思います。他自治体では子どもの声を騒音として公園が閉鎖され大きくニュースに取り上げられた事例もありました。周囲の環境との調和も大切ですが、それによって子どもの権利が侵害されることはあってはならないと思います。職員の皆様は、自信と誇りをもって本条例を制定していただければと思います。季節がら、インフルエンザなども流行っておりますので体調に気をつけてご自愛ください。
- きちんと条例として明示されることは、社会を変えていく機運にも繋がり、大変良いことと思います。
- ネットリテラシーについて盛り込んでほしい。自分で判断する力も必要なので、あまりがんじがらみにならないようにしてほしい。

- 標語や理想論に終わらず、活動の指針として振り返られ、新しい企画の拠り所となり、何かの判断の機会には参照されるものになれば良いと思います。
- 子供を守るためにいいとおもう
- 個人個人の感覚での良し悪しのみならず、わかりやすい形で示されることで、子どもたち（自分の子どもだけでなく）への関わりを考えることができそう。
- 子どもが健やかに安心して暮らすことができるための条例にしてほしい。
- 子どもたちを社会全体で守っていく上で、とても良い取り組みだと思います。一方で、子どもたちを大切にしたいと思いながらも苦しんでいる保護者を守る取り組みも必要だと感じます。
- 大事にされていることを実感すること
- 命の権利を守る条例はいいと思う。こどもにとって最も良いことを考えることとこどもの意見を尊重するは、両立が難しい場合もあると思う。そこには金銭的なことも関わるし、こどもの意見を尊重したくても出来ない大人の事情だってあると思う。こどもは自分の意見を尊重??好きにしていいみたいに捉えないだろうか。四つの原則は大人が子どもに接する時の原則みたいに思う。子どもの立場から考える子ども自身の志、行動の仕方、考え方なんかも盛り込んだ方が良いんじゃないか。
- とてもよいことだと思います。子供にとっても大人にとっても。
- 実効性がどの程度あるのか
- 綺麗事で終わらないようにしたらいい
- 子どもがひとりの人間として尊重されるべきということを子どもの親は認識しておくべきであり、その認識を得る機会は自ら情報を取りに行かないとなかなかないため、広く知れ渡ることを期待する。
- 内容がよく分からない
- 作ることがゴールとなるような形式的なものにならないようにして欲しい
- 親の収入による所得制限やそれによる不平等さなどがなく、公平な教育機会があると良いと思う。また、古い慣習を踏襲せず、最新の技術も取り入れながら様々な教育機会や体験機会が得られるとよいと思う。
- 難しい問題です。ですが、進めないと子供が平等に学ぶ機会が減るのは好ましくないです。育てる親も一緒に心を整える環境が有る事を望みます。
- 子どもの人権は大事だが、共働きで親が子どもと関わる時間が減っていると思う。子どもに十分な食事を与えたり、看病は、保護者である親の働き方についても十分な政策、制度設計をしないと、子供の人権は改善されないと思う。子ども条例をつくる理由、条例ができることによって期待できる改善点がいまいちよくわからないので、統計等のデータを活用しながらわかりやすく提示してほしい。
- 子どもの人権尊重、いじめや不登校 mmm
- 何が変わるのかよくわからない
- 条例の内容を知らない。とにかく性犯罪を始めとする犯罪から守られて、世の中が子供第一になって欲しい。
- 子供の未来を守るような取り組みをお願いします
- 子どもが心身ともに健康に育つための条例であればよい
- 絵に書いた餅のような建前だけの条例にならないことを願う
- 権利を守るためには、個々の力でなく、行政など上からの守る力が必須であり、個々がどうした所で権利を守れる力は弱い。個々が権利を主張

出来るよう、市はルール、ルール言ってないで守って欲しい。

- よいことだと思います。大人に支配されず自分達で行動し発言できる意志の持ったこどもたちが世の中に増えてほしいです。
- 市民として我が子だけでなく、あらゆる子どもを支えるきっかけになるため良いと思う。
- 良いと思うが、あまりに子ども中心に考えると、教育や社会の場で適応できない子が増える気がする。子どもの学校を見てて、自由な子が多く、学級経営が難しそうに見えることがある。また、子ども達の人間関係においても協調性に欠けていると感じる時がある。
- よくわからない
- 特になし
- 個性や個人のパーソナリティ、成長具合を相互に認められる事が良しとされる様な条例にして欲しい。
- ない
- 非常に大切なことだとおもいます。
- 一方で、規約や条例などが存在しないと皆が行動できないのかという寂しさを感じます。活動には賛成いたします。
- より豊かな狛江市に発展することを望んでおります。ありがとうございます。
- 親の接し方で虐待とか思われないといい。条例を作ることで親だけの負担にならないでほしい。まわりの支援や、サポートが欲しい。条例を作って何のためになるのか支援がないなら今までと何も変わらない。
- 普通に生活していく事が難しい子供でも最低限の権利やサポートができる内容だと良いと思います。
- 条例をどうやって浸透させていくのか
- どこまで効力を持った条例なのか、子ども条例により、大人と子どもとの関係が開き、子どもとの接し方に配慮が多くなり過ぎないか心配です。
- 子どもが何の遠慮もなく一度きりの子ども時代を「子ども」らしく自由に元気に活発に自分らしく過ごすことが出来る世の中、家庭環境を目指してゆきたいです。
- 良いことだと思います
- 目的が子供の成長ではなく条例を守ることが目的になると本末転倒であり、それならば、条例にせずに狛江市ではこのような考え方を推進しているやこのような、方法があるとまずは、色々な機会で発信することが良いかと思う。それができていないようなら条例も検討する必要がある
- 理念には共感しますが、パンフレットを読んでも市という自治体の単位で条例を制定する理由に具体性が感じられません。「子どもの権利が守られ、幸せに暮らせる環境を整える」ために「子どもの視点に立った施策を、各分野においてさらに推進し」「子どもたちが心も体も健やかに育つ環境を整備」とありますが、この条例があるとこんな環境が整うとか、あるいは条例が無いことでこんな不都合がある、ということが読み取れず、意味があるのか判断しかねます。啓蒙パンフレットを配って終わりくらいなら予算の無駄使いだと思いますので、市という小さな単位の自治体ならではの施策に期待します。個人的には、市内で子供の権利が侵害されている事例はあるはずなので、それが可視化され注意報的に周知されるような施策があるだけでも意義は大きいと思います。
- 子供ファーストの内容であってほしい。
- 子どもに対して深く考えようとするきっかけづくりとなって良いと思う。

- なし
- 子どもを大切に考えていることとして、こういった機会はとてもいいと思う。形骸化せずにいかにして実行し、子どもが大切にされていると実感できる狛江市になることを祈る。
- 実効性のある内容であって欲しい。
- 必要だと思う
- 必要だと思っています！
- 条例ができたとしても、具体的に感じられる場面があまりイメージしにくい。こどもの範囲も乳幼児から中高生まで幅が広い。民間で、そして行政が後方支援している事例など市民に伝わるように広めてほしい。
- できて何かが変わるのか、何のために作るのかよくわかっていない
- 親も意識改革になるかと
- 子供を守る法律との認識であり、ぜひ良い条例にしてください。具体的に実生活に実感できるようにしていただきますよう、よろしくお願いたします。なお狛江市は残念ながら保育園の待機児童比率が異常に高いと思いますが、保育園に入れず市役所に相談した際は「少子化に伴い子供が減っていく予測なので保育園を増やす予定は無い」との回答でした。狛江市は子供減を自然体で受け入れていると同義と受け取れる発言で、「人口を増やす」、「子育て世帯を増やす」という考え方は無いのか？とがっかりしたことが記憶に新しいです。数年後に学童保育問題に遭遇しますが、待機児童数はいかかでしょうか。そういった意味でも、狛江市が子供を大事にする条例を検討くださっているということはプラスに思えます。
- 外国ルーツのお子さんや障害をお持ちのお子さんは（支援級　そのほか措置が取られていても）公立学校において差別的な扱いがされているのが、実態と捉えている。また、意見表明権はじめこども条例の制定を機に、本来なら主権者育成の場として・こどもの意思決定養成の場として活かされるべき。狛江市主催「こども議会」の様な形式的なで儀礼的なイベントで終わっている（こども達の提案について 1??予算措置がなされていない・・数十万円でも実行されれば効果的であるはず　2??男性ばかりのデジタル音痴な部長職により、こども達の意見がボロボロに例年なっている・・議会によるアイデアの深掘りやデジタルに通じた市民・社会人によるサポートがあれば、活かされるポテンシャルを秘めている「子ども達のアイデア」が、本当に活かされる本質的な「こども模擬議会」の実現、もしくは各中学校区・小学校区単位での子ども議会（教育委員会や社会教育団体・市議会等により、年一度の象徴・セレモニー的でなく）地域で事後フォロー、継続的に支えられる仕組みにぜひ深化頂きたい。
  https://www.city.tama.lg.jp/shisei/1008239/wakamono/1015178.html
  遊佐町　子どもからのアイデアに予算措置
  https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/84982.html
- 理想はありますが現実とのギャップがあることも多いため、そこを考慮した内容にしてほしいです。
- 子ども条例ができることは良いと思います。でも、それをどう活かしていくのか、周知していくのか、子どもたちに知ってもらうのか、が重要だと感じています。
- アメリカのようになると、子が親を訴えたり、なんとかハラスメントが増えたり懸念はありますが、虐待などから守れるように 1 人の人間としての権利は条例としてあれば良いのかもしれません。
- この条例があることで具体的にどのような効果があるのかよくわかり

ませんでした。

- 特に教育に関する子供の権利が守られますよう願ってます。本当の意味で子供達に寄り添える教育者はそう多くないと思うこともあります。また地域での遊びに制限が多く、ボールもタイヤつき遊具も使えないし、飛んでも走っても怒られる窮屈な枠組みの中で気をつけて遊んでいても、急に怒鳴ってくるような高齢者から、子供を守る仕組みがあるといいと思います。子供が安心して伸び伸びと育つような狛江市になってほしいです
- 条例の案はあらかじめ確認できないのでしょうか。罰則はありますか。
- どんな場面を想定しているのかパッと思いつかない。実際、子供の相談にどれだけ対応できるのか、話を聞くだけなのか？具体的にどんな対応をするのかお聞きしたい
- 条例ができることで、具体的に何か変わることはあるのかが疑問。市民の人々が子どもの未来を応援したい、良くしたいと思えるようになる内容になると良い。
- きちんと履行されるのかどうか
- 条例の目的を大人も子どもも理解した上で、子どもの安全を守るための条例にして欲しい。
- 子供たちがより過ごしやすく、安心できる地域になるようにして欲しい。
- SNS、スマホ、タブレットの制限はあって良い
- 基本的にはよいことと思います。が、大人の責任を果たせていない人が多い中で、子供の権利にだけ目を向けてもよくはないと思う。
- 子どもを１人の人間としてその考えや選択を尊重することは、日々の生活の中でなかなか難しく、つい大人の都合で叱ったりコントロールしようとしたりしていると感じます。条例化はとてもいい取り組みと思いますが、具体的に各家庭で話し合えるようなコンテンツ、事例など(意見が異なる時にどういうプロセスで折り合いをつけるか家庭で話し合っておくなど)、一歩踏み込んだ施策があっても助かると思います。
- すごくいいと思いますが、プレッシャーです。身近なひとに子育てについて批判されたり、いつも(子どもが)泣いていると言われたり、ただでさえ身の狭い思いをしているのに、親も人間であることもわかっていただきたいです。
- 条例が出来ることによってどうなるのか？がよく分からないけど、色々な事件が多い昨今、子供の安全を第一に守れるような条例ができたらいいなと思います。
- 4 つの原則 2.4 は結果論でしか是非が問えない問題で言ってることはわかるが非常にナイーブな問題。同じ人として人権を尊重しましょうという内容ならわざわざ条例にする必要があるのかと疑問
- こどもにわかりやすいものがよい。
- 良いと思う
- そのようにありたいと思うが、そのようにあれない親の吐き出し口やフォロー体制も共に整えてほしい。特に朝の時間の見守り体制(小学生は特に)を整備してほしい
- 条例ができることはよいと思うが、できただけで特に実生活に有効でないとなると無意味になるので、有用なものであってほしい。
- 子供を持つ親としては興味深い
- 条例ができるのはとても良いことなので、この条例が実際に子どもの立場が守られることに役立っていくことを願っています。
- なし
- 子供が何かあった時に、安心して相談出来る、先生や親以外の大人がい

る環境があると良いと思うので、条例にそって取り組んでいただけるとありがたいです。

- 子供の頃自分が我慢したことを、自分の子や今の子供達はしなくて良くなるなら良いと思った。
- 特になし
- 条例ができることにより、年代問われず、子どもにとっていいことが援助内容が周知されるなら良い意味があると思う。子どもに携わる仕事をしている幼稚園、保育園、塾、支援施設などの先生方が気持ちよく働ける環境が必要。給料、休暇、人手など。家庭だけではなく、子どもが関わる人達への支援も必要だと思う。親の一息つけるように、親子カフェや一時保育が日数限られず、必要な時に使えるようになると良い。
- 障害がある子供が安心して生活できる環境になりますように
- 子供達にとっていい環境が作れることを期待してます。
- 特になし
- 子ども条例ができることは、とても良いことだと思う。でもこれが正しく知られて、子どもが守られることがより重要だと思うので、行政には周知方法や活用法にも、力をいれてもらいたい。
- 条例ができると、子供にもこういった決まりがあるんだよと伝えやすいのでいいとおもいます
- 子供を大切にできる環境はとてもいいと思う。みんなが常に条例に目をとめることが出来れば効果があると思う。
- それ自体はとても良い事だと思う。しかし狛江市が、それを制定したというだけで子供たちの事を真剣に考えてるようなフリをされるのは納得出来ない。元々冴えない狭い図書館を『子供がうるさいから』と他所の市町村の人に恥ずかしくて見せられないような更に狭い図書館にしようとしているような人たちが考える子供の権利なんて、ポーズだけでやった感を出すためのものだと、はなから何の期待も持てません。
- 親の経済的な理由により、制限されず、平等かつ全ての市民児童にへだたりのない環境の整備をお願い致します。
- 取り組み自体はとてもいいと思いますが、こういった条例を作らざるを得ないという現状を考えると心苦しいです。条例などなくとも、当たり前にのびのびと子ども達が生きていける社会にしていきたいですね。
- 最低限の生活が守られるようになればと思います。貧富の差なく
- 子供の自由を第一に考えすぎて、ゆとり政策の二の舞にならないようにしてほしい。競争することはときには必要であり、子供が成長する上では重要。ただし、順位に囚われすぎないことが大切。
- 条例ができて、子供が安心して過ごせる環境に今以上になってほしいと思う。現在小学校低学年ですが、これから成長していき、SNS など使ったいじめや、親の力が及ばないことが起きることを心配している。大人も子供も差別をしない等の条例ができるといい。
- こどもたちが健やかに成長する助けになる条例であって欲しい
- 特になし
- 条例も大切ですが、子どもが子どもらしく過ごせる環境があるといいと思います。(子ども声への苦情や自由にボール遊びできる環境など、今の世の中が子育てしにくいと感じる時があります)
- 子どもたちに関わる決め事に子どもたち自身が意見できるようにして頂きたいです。進み切った少子化の現状で、政治的な多数決では少数意見になってしまっている大切な意見を聞き取れるようにぜひしてあげてほしいと思います。
- 将来、ひとりだちする人間として、子どもの意見を聞くことも大切。だ

が、子どもだからという理由で何でも優遇されるわけではないことも、知っておく必要がある。社会に合わせつつ、修正すべき点がないかを考え、大人とも協力してよき答えを導ける子どもを育てたい。

- 子どもの条例ができるのは賛成です。父親をもっと子育てに引き込む内容にしてほしい。女性の良心だけで子育てをさせる時代を終わりにしてほしい。夫は子どもがインフルエンザになって登園、登校できなくなっても平日仕事を休まない、女性側が仕事をフルタイムでしていても休む風潮が残っている印象。共同親権を認めるのであれば、子どもに対する責任を男性側も負担すべきことを明記してほしい。
- 通学路やその周辺（駐車場等）で、大人の喫煙をやめて欲しいです。受動喫煙について、市の方からもう一歩対策して欲しいです。
- 条例も良いが一つでも遊具が多い公園をつくって欲しい
- これからの狛江市の未来を支えてくれる若い力を、一番に考え、大切にしてもらいたいと思います。ずっと狛江市に住みたい、自分の子育ても狛江市でしたい、そう思えるような狛江市にして欲しいと思います。
- とても良いことだと思う。子どもに自己決定の自由をもっと与えて、幸せになってほしい。不登校も幸せな選択になる時があることを、親には知って欲しい。
- 具体的なことかわからないので返答出来ない。
- この条例で救える命が増えると良いなと思いました。
- 日本が国連の子どもの権利条約に批准してから 30 年経ちます。それを考えると正直、条例ができるのは遅いくらいだと思います。（当時、高校生で批准に際、アピール運動をしていました）未だ、社会的に子どもは親の所有物との認識で人権がおざなりになる部分が多く見受けられるのは、まずは子どもに人権があるという認識が社会的に希薄だからだと思います。そして、子どもの人権=わがままという間違った認識をされる方もいるかと思います。条例公布前からでも、そのあたりをの考え方をしっかり改められるようなアピールの仕方を希望します。
- 子どもの意見や存在が守られることで子どもたちがのびのびと育つきっかけになるのではないかと考えるので良いと思います。しかし、実際にそれを実行するのは大人だと思いますので、実行可能な環境を整えることが同時に必須だと考えます。
- 子供は未来の宝なので大切にして欲しい。その子供を育てる親も現実が大変でしんどいから、親にも優しくして欲しい。
- そもそも条例がどの程度の粒度で制定されるのか、自身の理解が足りない。その条例ができることによる実益が想定できない。
- 子どもにとっていい環境づくりをお願いします。子どもが手術を伴う病気の為、妻が働けない状況です。よく市役所にご相談に行かせていただくんですが、受けれる手当がございません。国からの助成金がでるよう内部からも呼びかけをお願いします。今の経済状況では家族で路頭に迷います。よろしくお願いします。
- 条例を制定したからといって今の状況が本当に変わるのか疑問
- 条例は良いと思うが、何が本当に子供のためになるか、を判断するのは難しいと思うので、専門家の人を多く交えて慎重に判断して根拠がしっかりとあるものにして欲しい
- 子どもと触れ合う機会がない方の目にも止まるといいなと思います
- 子どもについてみをんなが考える機会になり良いと思います
- 保育園・幼稚園、学校にも周知されること、必要な時に、子どもから大人へ相談することを誘導できるような内容であったらいいなと思います。

- いいと思う
- 親ガチャと言う言葉は悲しいので、子供にプラスなこのは増やせたら良いと思いました。
- 周知される機会があまりなさそうな気もします。子供が大きくなると権利ばかり主張して怠惰になりそうな気がしています。(上文 2-3)
- 子どもが苦しんだとき、困ったときに支えになるようなものであってほしいです。また、子どもを持つ親がそれによって苦しい気持ちにならないものでもあってほしいと思います。それぞれの家庭にそれぞれの事情があるなかで、親子関係や学校での人間関係に左右されてしまう文言ではなく、いま苦しくても、世界はそこだけじゃない、視野を広げれば楽になることもあるかもしれない、学ぶことで自分を救うこともできるかもしれない、というメッセージなどがあるといいなと思いました。一方で、子どもが安全にのびのびと歩みを進めるためにも、危険な情報へのアクセスは制限し、信頼できる情報（複数の専門家のチェックが入った書籍、ウェブサイトなど）に導くべきとも感じています。もっとも、何を制限して何を推奨しているかの基準と理由については、透明性をもって公開されることが大切だと考えます。情報の不透明性や、根拠なき制限による不信感は、危険な情報に飛びつくリスクをむしろ高めてしまうと思います。
- 子育てが安心してできる環境を整備してほしい（経済的支援、保育所の充実、子供が遊べる公園や施設の整備）
- まだ子どもが小さいため、子ども条例の内容を身近に感じることができないのが率直な印象です。しかし、子どもの権利は守られるべきで、子ども条例を必要として社会があることの学びになりました。
- いい事だと思う。子供達を優先して、大人の働き方や動き方が変わるならそれは良い事だと思う。
- 子供が体を動かして遊ぶ事が脳の成長に大切なので　とにかく外で自由に体を動かせる環境を整えてほしい。また、なぜ外で遊ぶ事が大切なのかを　保護者に教育し現場の職員の心理的な負担を軽減してほしい。
- いじめとかそういう問題に取り組んでいく事はいいと思う。
- 条例が出来てどうなるのかイメージできませんが、条例に基づいて子供が暮らしやすくなる市政の行使がしやすくなるのであれば推進してほしいです
- 全然知識がなかったので分かりやすいリーフレットなどを配布して欲しい。
- 行政が出過ぎて余計なお世話になったり、過干渉されるのが迷惑なときがあるので、柔らかい運用を期待します。
- このご時世、SNS 等で中傷やイジメが多くて気づかない所で被害者や加害者にもなってしまいやすいと思うので条例ができるのは良いことだと思いますが、しっかりとした条例を期待したいです
- 特に条例なんていらない。
- 良いと思う
- 精神論で終わらずに、具体的な支援、指導方法などを明確にして欲しい。
- 内容がよくわかっていない
- 子供の安全を守る為の項目を増やしてほしい。小学校、放課後クラブのの行き帰り等。
- 子ども条例ができることは、時代の要請に沿ったことであり、大変素晴しいことだと感じます。少子化が進む一方で、不登校やいじめ、児童虐待などの課題は増加しています。子どもを持つ親として、条例の制定を機に、これまで以上に子どもや子育て家庭に寄り添った取組を充実して

欲しいと思います。誰一人取り残されることなく、子ども一人ひとりの個性が尊重され、心身ともに生き生きと成長できる都市こまえを実現していただけることを期待します。

- 子ども一人一人が生きていく上で必要な権利（衣食住、勉強、体験など）が保障されるのはいいが、学校や保育園、幼稚園における集団生活の中で子どもの権利だからといって集団とは違う行動も許すのは辞めて欲しい。真面目に集団行動をしている子どもの迷惑になる。権利と迷惑行為の線引きをしっかりして欲しい。
- 子供の権利条約を知らなかったので、まずは知る事から
- 自分自身の悩みだったり、家庭環境の悩みだったり、悩みはあって当然だし、秘めてしまう前に手紙や特別な講演だけでなく普段の授業や話の中に自分自身を大切に肯定する機会、多様化の社会を知る機会を増やしていけたら良いと思う。学校の先生以外のカウンセラーや専門家を増やして窓口も常にオープンしてあるとかけこみやすいかと思いました。小中学校に選択授業を取り入れてほしいです
- 健全な環境で子供が育つために最も重要な事項のひとつに、親の接し方があると思います。そのため親に子育て方法を教える場を設けることが望まれます。保健所に母親学級がありますが、お風呂の入れ方とかしか、習いません。育て方を全く学ぶ機会がないまま、子育てに突入し、余裕が無くなり、悪循環に陥ることも多いと思います。上記の 12 項目を教えるだけでも、相当、変わると思います。ご検討、お願い致します。
- こどもの権利を尊重するのは良いことだし、こどもが自分の権利を学ぶことも大切だと思う。一方でそれを受けたこどもが必要以上に権利を主張して、訴えられた大人などが一方的に不利になったりしないかは配慮が必要だと思う。また、こどもの１番の生活基盤は家庭であると考え、こどもが安心して過ごせるよう保護者にもレスパイトの機会や経済的な支援が十分に必要だと思う。障害児は保育園で延長がしてもらえなかったりすることも改善して欲しい。
- 興味を持たない大人の方への周知が大切だと思います。
- 子どもが権利ばかり主張しわがままな要望をいうことが心配．すでに、これらの子供の権利のことを知っていて、その知識でいろいろいってくる。親だけでは聞いてもらえない。
- 条例としてある事は、大人が改めて子供とは自分の所有物ではなく一個人として大切に育てていかなければならないと認識できて、とても良い事だと思います。
- 条例作るなら子供を持つ親の意見を多く取り入れて欲しい。条例ができたなら周知するよう啓蒙活動をして欲しい。条例作るだけ作ってあとは放置とか辞めて欲しい
- 不登校の子どもを、学校にもどすことを目的に扱わないでほしい。今の日本の学校教育自体に問題があることに、目を向けてほしい。
- 上記の内容の条例ならばいいなと思います。
- 条例ができることは良いと思うが、それが子どもが居ない方達にも周知されることが大切だと思う(特に高齢の方とか)
- 条例自体はいいが、実行を伴わないと意味がない。また、現状の内容は、家庭内や学校に限られた内容のように見える。子どもに優しく正しく接する大人、環境を市都国全体で取組む必要がある。あらゆる人が参加する必要がある。
- 良いと思う
- 具体的にどのようになるか、変わるのかがわからないが良いと思う。
- 全ての合法的に狛江市で暮らす子どもが、安全且つ健全に生活出来るよ

うな仕組み仕掛けであって欲しいです。一方で不法滞在者のサポートに繋がることはあってはいけないと考えています。

- 良いと思う。これからの時代は彼らの考え方が作るので。
- 子どもの意思や権利が尊重されるならよいと思います
- 本題とは少し逸れるかもしれませんが、幼児から小学生くらいの子ども達の遊ぶ場所として、小学校等の校庭解放を検討して欲しいです。保護者の責任で遊ばせる誓約書を書いても良いですし、毎日でなくても構いません。また、ボール遊び禁止などの制約があっても構いません。広い公園が少ないので、自由に走り回れる場所が増えるだけで大変ありがたいです。色々と調整が難しいことは承知しておりますが、ご検討いただけますと幸いです。
- 子供たちにとって過ごしやすい環境になるならいいと思います
- 狛江市が子どもの権利尊重をする自治体である事を示す観点から良いと思います。具体的内容が見えない為、現時点で内容のコメントはありません。実効的な施策につながる条例である事を願います。懸念は特定の団体の意向が強く反映されてしまう事です。(例、自民党と統一教会)偏った思想信条に基づかず、子どもの権利を第一に考えられた普遍的価値に基づいた条例を望みます。
- 大変なことも多い今の世の中、未来を担うこどもたちが、どうか幸せに安心してありのままの自分で過ごせるような内容であったら嬉しいです。
- 子供の権利を守るという目的での条例制定はとても良い事だと思う。しかし、それを守るための働きかけが子供を持つ親に対してのみになってしまうと、それは子育て世帯を追い詰めるだけで子供にとって良い事に繋がるとは思えない。例えばテレワークだから、静かに暮らしたいから、といった理由で公園で遊んでいる子供の声に苦情を言う人の話を SNS で見た事があるが、(非常識な時間帯、声量音量を除いて) このような苦情から毅然と子供達の外遊びの権利を守っていただきたいと思う。また、そのためには『子供』に関するこの条例を、子供の有無や年齢など立場の違う様々な人達にどのように知ってもらうかがとても重要だと思う。
- 大人もそうだが、子どもにとっても理解できる条例を定められるといいと思います。
- 期限はあるが、制定のために時間を使いすぎず、後から必要な際に、よりよく変更できる取り組みになってほしい。
- 学校や保育園などの閉鎖空間におけるルールを強化していただきたい。条例を作るだけの自己満足に終わらないよう、その周知にもかならずマイルストーンなどを設定してください。子育て層だけではなくお年寄りや独身層にも影響を及ぼすようにしてください。
- 特になし
- 条例を作った後の周知が難しいように感じる。今でも子どもたちが公園のルール内で公園で遊んでいると大人に怒られる(声が大きい、うるさい等)子供にではなく、地域の大人の理解度があって初めて効果のあることだと感じる。
- 大人が過干渉せず、子供自身でのびのびと考え、行動できる環境づくりを希望します。
- 日本の教育やしつけは「これをやるとためになる」「こうあるべき」という無言の圧力が先にあって大人の都合が占める割合が大きいと感じるので、子どもの思いや気持ちが尊重される環境が整うのは良いことだと思います。この条例が制定されることで、子どもたちが自分らしく居られて、さらに周りとの調和を学ぶきっかけにもなってほしいなと思いま

す。子どもの意見が尊重されるということは私の子ども時代には当たり前ではなく、されない場面の方が多かったので、この権利を元に子育て世代以上の方々も学ばなければいけないと感じます。

- 虐待する親が少なくなればいい。
- 子どもファーストは大切だと思うが、子の成長を願う親の、一般的に許容される躾行為までが条例の趣旨に反する内容にならないか心配に思います。体罰などといった、行き過ぎた行為は論外ですが、叱責は時として必要な場面もあろうかと思います。こういったケースにおいて、これも条例に反する行為とみなされると、親が窮屈に感じるのではないかと思うところです。
- 安全、安心を第一に、成長に刺激を与える機会に関する条例があると嬉しいです
- 子供が生活しやすい環境になれば良いと思う。
- 今の段階ではありません。またこのようなアンケートを定期的にしてもらいたい。
- 子どもが言いやすい環境が増えていくのはとてもよい。何でも言えば良いのではなく考える事も同時に教えていただきたい。
- 子どもも青年も考えて欲しい。
- 子供は日常の大半を学校で過ごすので、いじめやうまくいかないこと（習い事など）があった時など他への逃げ道があったほうが良い。現在ある学童や児童館以外で無償で同じ目標を持ちつつ他校との交流がもてる場所、習い事（ダンスや囲碁教室）など自分が今いる環境（いじめの場合には学校）以外にも居場所や友人の選択肢が増えると安心できると思う
- 子どもが正しく選ぶことが出来るよう、選択肢と情報をたくさん用意して欲しい
- 良いと思う
- どうゆうことが条例で制定され、どのように効力があるのかイマイチわからない。
- 子ども条例ができること自体は良いと思う。実際に人々の意識が変わったり、社会が変わったりするまでに道のりは長いと思うが、条例が大人の満足で終わってしまわないようにしてほしい。
- 子供が安心して過ごすことができる環境はすごく大事だと思います。また、子供はしっかり物事を見ていて、疑問を持つことができているので、子供が受け身になりすぎることなく、自分から進んで、学べる環境であって欲しいと思います。
- すべての子どもたちが、遊ぶ機会、学ぶ機会、挑戦する機会などを持てるようになってほしいです。
- 声のあげ方があまりよくわからない子供にとって良い条例だと思う。
- 子供が安心して成長できる環境を整えて欲しい。
- 良いと思う
- 条例の制定には賛同するが、実際に就学前相談や通学校の変更希望申請等で狛江市と様々な相談や手続きを行う中で、発達支援センターの職員から暴言に近いことを言われたり、学区変更について杓子定規な対応をされたりと、現在の狛江市自身が子供のことを第一に考えた対応をしているように見えない。条例をただの理念で終わらせず実効性のあるものにするために、市民だけでなく、条例を制定する狛江市自身も、ソフト面・ハード面ともに、より子供のことを第一に考えた対応をしていただきたい。
- 子供を守るのも考えさせるのも大切

- 条例ができたことで何が変わるのかがわからない
- 差別されないことが良いと思いました。男女や障害など関係なく差別されない社会であって欲しいです。この条例があることで親としても子供への接し方を改めて見直すことができて良いなと感じました。
- 病児保育ができる施設を増やしてほしい。
- 理想すぎて、それにかけられる時間がほしい。働く女性の時間やお金を考慮してから考えて欲しい
- 子どもであるというだけで、人権が軽視されがちです。このような活動をもっと広めるべきですし、大人はもっと学ぶべきと考えます。
- 子供条例できても親次第かと思います。狛江市の住民が他人の子供にとやかくは言えないだろうし、狛江市がその子供に手当（習い事チケットや食事チケットなど）が必要子供がやりたいって言っても、送迎が大変だったり、全て親次第。子供にはこうしなさい！こうあるべきだ！ってなる。こども条例できることはいい事ですが、もっと他にやるべきことがあるのではないでしょうか。自分やお子さんのこと、子育てに関することなど困ったとき・悩んだときの相談窓口はあるが、忙しい親は連絡しない。お金がないから働きにいき、最低限の病院は連れて行くくらい。多子世帯に給付したり、子育て世帯に給付（狛江市で使える習い事などのチケット）を配布して、子育て世帯を増やすのはどうですか？
- 社会全体で、子どもを守ろう！子どもの心身が健やかに豊かに育てるよう、大人達が全力をあげて行動する！という決意をすることは大切だと思う。
- 内容がわからないので現時点では回答不可。
- 条項はかなり概念的な事に感じているので、どのように具体化していくのか興味はある
- 条例も大切ですが、狛江には中高生が好きに過ごせる居場所などの施設が全くないので、そこも一緒に整えてもらいたい。
- 子供の自殺が増えるなど世代の中で１番の宝である子供が生きにくい世の中になりつつあるので条例が出来るのはいいと思う。もっと子供に市のリソースを当てるべき(給食をもう一品増やす、学生が自習できるスペースを増やす等)だと思う。
- 少子高齢化により子供は貴重な存在となっているはずですが、一般社会では子供の存在を軽んじる傾向がまだまだ強いと感じます。ベビーカーのままバスに乗るのは未だに難しいですし、傾斜のついた狭い歩道（水道道路）はベビーカーが車道側に傾くので危険です。ただ、授乳室が様々な場所に設置されたり男性もおむつ替えスペースを利用できるなどの良い取り組みも増えてきていると思うので、こども条例をきっかけに、子育てしたいと思える社会になって欲しいと願っています。一点、以前から思っていたことですが、子育ての悩みを相談する保健師さんたちに疑問を抱いています。これまで複数人出産して何度も面談をしてきましたが、こちらの悩みにまともに向き合ってくださった方はいませんでした。ただ話を聞いて欲しいわけではないので、 適切な機関に繋ぐことや具体的な策を考えていただくことに重きをおいていただきたいと感じます。中身が形骸化した面談は勿体無いので、条例の件と併せて是非見直しをご検討お願いいたします。
- 子ども自身の声をどれだけ反映しているのか。大人の都合が組み込まれていないか
- 一般論ではなく、狛江市の実情、例えば人口が増えてる、基幹産業がない、道が狭い等を加味したものになって欲しい。独自性を出して欲しい。
- 子供の権利を尊重する条例について、よい方策だと思います。

- (当フォームの一般向けリーフレットに飛べません)条例について中身が確認できていませんが、保護者も子育てにおいて学ぶ機会が必要と考えています。
- 情報提供いただけるのはとても良いことだと思います。
- しつけと、ルール、社会的にどうかなどのすりあわせが大切です。それに合わせてこども達への伝え方の共通理解が必要かと思います。
- 子どもが自ら声をあげることは難しいかもしれませんが、そうなれるきっかけとなることに期待します。
- こども自身が守られている、大切にされていると感じられたら良いと思う。条例として定めることにメリットデメリットは、あまりわからない。
- 子供達と意見交換をするのは良いことだと思う。ただ実際になにをどうやって運用していくかがわからない。社会が多様性になり色々な国籍や人種の人も増えているので差別がない社会には賛成だ。
- 子育て家庭が多いので、いいと思います
- 正直、こんな条例を作らないと子どもの人権が維持できないと考える風潮に嫌気がさします。こんなことより働く世代の可処分所得を増やす政策（住民税減税や地域振興券の配布など）を推し進め、結婚したい、子どもを産み育てたいと思える条例などを作ってもらいたい。そうすれば自ずと子どもたちも生きやすい世の中になるのではないでしょうか。狛江市は近年子どもも増えている地域だと思うのでモデルケースに成り得る素地はあると思います。
- 何がどう変わるのかよくわからない
- 子ども自ら声をあげて電話したりと嫌なことがあっても１歩を踏み出せない子もたくさんいると思います。このような条例を作ってもそのような子が減らないのでは意味がないと思うので、子どもから行動するのではなく大人が寄り添う形をたくさん作ってあげてほしいです。学校などで１人１人話を聞く時間を作るようにするなど……
- 実際に条例が作られることによって市政や子どもの暮らしがどう変わったのかのフィードバックもお願いします。
- 条例と聞くと、子供に対してのマナーや騒音等、厳しくされんじゃないかという不安がある。
- いいこともあると思いますが、一方の意見だけにならないよう、ケース・バイ・ケースをお互いが納得出来るようなものがいいですね
- 条例ができるのはとても良いことだと思います。せっかく作るのであれば、作るだけで終わり…にならないことを願っています。
- 何が子どもの権利なのか明文化されることで、保護者としては意識を高められ、地域の大人として手を差し伸べるべきか余計なお節介なのか判断できて良いと思います。
- 条例自体は良いことだと思います。具体的に、どのようにして制度的、人的パワーも確保して実効性を担保するかが大切で課題だと思います。
- 誰がどのように行動するのを求められるのかが気になる。
- 大人の「支えたい」と子どもの「やりたい」がいいバランスになると嬉しい。
- 良いと思います
- 良いと思います。実験教室などの学びの機会がもっと増える事を期待しています。
- こどもの権利条約批准から久しく、なぜ今になって？、それだけ子ども達が、危機的な状況にあるのか？と感じたと同時に、新しい世代への環境整備として、大切な事でもあるなと感じた。この取り組みを礎としてあらゆる所で、将来を担う子ども達が生きやすい整備を整えてほしいと

感じている。

- 子ども条例ができること自体、良いことだと思う。
- 仮に親が早期に亡くなっても、幸せであってほしい。
- 必要なルールだが、なんでもかんでも子供が思ったことを好き勝手にやってよい、と子供が履き違えることがないように、子供も権利と義務は一体であることがわかるように提示してほしい。権利を教授するのは、義務を果たしている前提がないと崩壊する。義務が何かは私では提示できませんが、例えば「社会での決まり（所属する組織や家庭のルール・法律を守ること、友達や周りの人を思いやる道徳心)」や「学習（勉学・スポーツ・趣味など)」を全うする前提で、子供にも権利が発生する。大人でも、義務を果たさずに権利を要求する方が多くみられます。子供は大人をよく見ているので、そのようなよくない例を見て、自分勝手な大人になるのではなく、社会をリードする素晴らしい人間に成長してもらうことの一助になるような子供条例ができれば、とても素晴らしいことだと思います。
- 子ども条例ができて、本当にそれが実行されると良いと思います。
- 偏った意見に左右されるのではないか。こどもに特化した条例が本当に必要なのか疑問に思う
- まだよくわかっていないので、なんとも
- 子どもにとって良かれと思う事がほんとうに個々の子に良い事かは切り分けて扱っていただきたい
- 子供ファースト、ワガママにならぬ様に配慮が必要
- 実際に、どういう効果があるのか分からないけど、大人が動かないより、動いた方が良い事が起きると思う。条例を作って終わりじゃなくて、たくさんの大人が周知出来るようにして欲しい。
- 子どもを守る為の条例自体は良い。子どもを持たない人や大人に迷惑や不利益を被ることが無いように出来ていれば良い
- 差別を逆手にとって特定の人が得をするような良くない条例にならないことが大切だと考えています。被害者ぶって人権を主張するような誤った考えをする団体に悪用されないようにして欲しいです。
- 子どもの権利や人権はとても大切なことですが、尊重しすぎる事で、子育てしづらかったり、制限が多くなる事を心配しております。
- 子供本位になると思うが、親目線も十分とりいれてほしい。施行期間はあると思うが、条例の内容等をどのように周知されるのか、条例に違反したと判断する基準や判断するタイミング、方法等は事前に開示する事は必要だと思う。
- 子供が安全に安心して暮らせる権利があることを、広く認識してもらいたい。
- 子どもの相談窓口が分かりやすくなるのは良い点だと思う。その他の権利や意見の尊重は、具体的にどういった場面で活用し、こども自身が条例によって恩恵を受けている、または守られていると感じる事ができるのか不明な点が多く、分かりにくい。図書館の建て替え計画についても、本を沢山読むべき年齢の小学生の意見を集める場がなかったように思う。こども議会にも参加したが、結局話し合うテーマがあらかじめ決められた中で進行するので、期待外れだったと子供は言っていました。
- 内容を知りたい
- 子供への配慮は大賛成だが、教育のあるべき論だけを条例にするのではなく、現実的に受け入れられる条例にして欲しい
- 条例が出来たあとの具体的なアクション。条例が出来ても何が変わるのかが，不透明。LINE で良いので狛江市としてのアクションが知りたいで

す。

- 条例の恒久的な活用が可能なのか？どのように誰がチェック機能をになうのか？パフォーマンス的にニュースになるような運用は効果が薄いとかんじる
- 条例があるだけでは意味がなく、どの様に周知し広く知ってもらうか？
- 子供にとって良い条例であれば作った方が良い。また狛江市は病児保育が少なすぎる。南側だけでなく北側にも作るべき。
- 条例制定は非常に良いと思うが、本当に支援が必要とする子ども(児童虐待など)にとって、何か変わるのでしょうか。親と子どもの関係について、外から見えない部分が多いと思います。
- 差別や命の尊さなど、親が説くのは勿論ですが、そう入った考えに多く触れる機会が大切だと思います。発行して終わりでなく、しっかり浸透させてもらいたいです。
- できた条例が意味のないもの、形骸化しないよう運用に力を入れていただきたい
- 条例ができたからといって何かが変わるのかと疑問に思う。こどもの権利条約と謳うのであれば、例えば元気に公園で遊ぶ子供をうるさいと叱る大人がいることを問題として考えるべき。狛江市内に引っ越してくる前は１度もなかったが、狛江に引っ越してきてから注意を受けることが度々あり、狛江は子育てに対する大人の理解が残念で子育てがしにくいと感じている。
- こどもたちが心身ともに健やかに育ち、尊重される内容となるよう願っています。また、近年は気候変動の影響によって、夏が暑すぎてプールに入らないなど、子ども達の活動が制限されていることを残念に感じています。子ども達は大人になる頃にはさらに厳しい環境になることが予測されており、大変懸念しています。国連子どもの権利委員会の「一般的意見 26」にもあるとおり、環境に関する意思決定において子どもの意見を考慮し、子どもたちが行動を起こし、環境被害から身を守れるようにするための環境教育をぜひお願いいたします。
- 取り組み自体は否定はないし、良いことだと思うが、これが制定されることでなにがどう変わるのか具体的にイメージができない
- 経済的に不便を感じていれば、子供の希望に叶わないことも多い。一つ一つの家庭に沿った条例にしてほしい。
- 自治体が、子供を健康に育み成長を見守ってくれ、子供の主体性も育む姿勢を持つことは、子供の自己肯定感を高めることになると感じます。子供が、差別や抑圧されることなく、家族や周囲の人の力を借りながら、自己を表現できる環境になることを願います。
- 条例を作るだけではなくで、実際に子供の権利が守られるように制度などを具体的に整えて欲しい。兄弟の保育のための育児休業が一年を越えることにより、すでに保育園に通っていた兄弟が保育園を退園させられる「育休退園」の仕組みは、保育園に通っていた子供の交友関係や生活環境の変化を無視するもので、とても気の毒に思っている。まさに大人の都合によりこどもの権利を侵害していると思う。子ども誰でも通園制度を開始する前に、育休退園の仕組みを撤廃してほしい。
- 条例ができてもそれを知らない大人も多いと思う。それをどのように周知できるのかなと感じる
- うちは発達障害者の子どもが二人います。健常者の子どもたちと分け隔てなく安心して共存しながら過ごせたらいいな、と思います。
- 内容がまだピンと来ていませんが、子供にスポットがあたることは良いことだと思います。

- この動きより優先すべき事項があると思う。狛江市になにが必要かというアンケートが先ではないのかな？
- 偏った価値観で決めつけるような条例が出来るのが心配です。ゲームは頭が悪くなるから駄目とか。いろんな面から調査して決めてほしいです。
- 子どもが生きやすい街づくりのための条例制定に賛成です。
- 良いと思う
- 子供ファーストの地域ができれば、とても良いこと
- 趣旨説明がなく、いきなりアンケートでは答えられない。
- 大人の都合で子育てをしたり、ないがしろにしたりすることがないよう、子ども条例が大人にも知ってもらえるといいなと思います。
- 子供の意見こそ発想豊かでさまざまな視点から物事を見ることができる。とても良いことだと思います。子供条例ができることで子供とも条例に対して真面目な意見交換できる機会もできるだろうと思います。
- この条例をどういったときに使うのかがそもそもあまり分かりません。
- 子ども条例が子どもも大人も周知されることは、とても大切だと感じる一方でどのようにその内容を周知されていくのかが気になります
- すべての子どもが守られて健やかに育ってほしい。
- ない
- 条例自体は良いと思うが、それが具体にどう落とし込まれるのかイメージがつかない。
- 現状、遊ぶ場所が少ないこと。ボール遊びが禁止されている公園が多く、遊び方に制限がなされていることに不満。改善できるような取り組みを希望します。条例の制定は賛成。
- 条例の制定により、子供にも意見があって耳を傾けていく認識が深まると思う
- 良いと思いますが、実効性のない、単なるスローガンだとしたら無意味。もっと実生活に役立つ施策実行をお願いしたい！
- 一口に子どもと言ってもさまざまな環境の子どもがいるはずなので、どういう子どもに対しての企画なのか、現状、具体的にどんな問題があるのかなどをもう少し知りたいように思う。
- 市が直接住民に声かけする、郵便物で状況を確認する場があるとたすかる。忙しいとは思うが、東京の中心部より住民数がそこまで多くない狛江市であるからこそ、顔をみて、子育てに関して積極的に行政が関わって欲しい。
- 市の療育サポートを小学生以上まで広げて欲しい。放デーの確保ができない。
- 子供が守られすぎていることに不安を覚えます。子供が、「大人になりたい！」「大人になるのが楽しみ！」と思えなくなってきているように感じます。子供が一番優遇されているから。子供が幸せに生きられることは大切ですが、一生は長い。子供ばかり注目が集まるのには違和感があります。働き盛りは一生懸命働き、老後はゆったり好きなことをする、そんな未来が約束されている方が幸せな人生だと思います。
- 子供ファーストでなければならない。
- 具体的にどのような条例になるか？がまだイメージできません。アンケート結果の公表と、それに基づいて皆がイメージできる条例案を公表して欲しい。
- 条例というとルール化されてしまう気がするのが懸念点。子どもやその周囲の人の活動を縛るものではなく、話し合いの場、話題の場を提供するくらいの位置付けの内容（スローガンで充分）になると良いと思う
- 子どもをあまり束縛しすぎないよう（公園では親同伴でないと遊んでは

いけないなど)、バランスを取っていただければと思います。
- 条例が良いガイドラインとして機能するものならば良いが、行動を制限させたり押し付けがましいものにならないものになればと思う
- 大人にも似たようなものはあるのかな
- 子供達を守る仕組みがあるのは良い事だと思います。
- 子どもの権利が適切に守られるのはとても良いことだと思う。
- リーフレットを見ただけでは抽象的すぎるように感じました。具体的に何をする為の条例なのかをもっとわかりやすくしていただきたいと思います。
- 形だけではなく、学校や地域の全員が守りたい，目指したいと思えるような条例にしていただきたいです。昨今では SNS を使ったいじめなど陰湿なものも多く、教員の対応も難しい状況にあると思います。こうした問題に厳正に対処するという姿勢が表明されてほしいですし、条例制定が正しい対処の根拠となることを祈っています。
- 子どもが子供らしくいられて、しかし子ども扱いされて軽んじられないような内容だといいと思う。
- 現状に満足しているので、新たに条例を作る必要はない。そこにコストをかけるくらいなら、現状の市政を運用することに注力してほしい。
- 条例ができることによってしっかり周知すること。この条例が当たり前となること。
- 大人がこどもを守るルールを言葉にするのはとても良い事だと思います。とても良い取り組みだと思いました。
- 社会性に関する内容だけでなく、単純に教育、福祉上の制度としてこどもファーストであってほしい。それにつながるものであってほしい。
- なんの条例なのかわからないので意見のしようがない。子供ってつければ何をしていいわけでもない。狛江は高齢者も多いので、横暴な高齢者から子供の自由を守れるようなルールにできると良い。が、狛江でそういう横暴な例は見たことがない
- 存在を知らなかった
- 子どもたちがのびのび過ごせる環境になるといいなと思う
- とくになし
- なし
- 差別を無くすなど、意識の問題については良いと思います。一方で、親が仕事や家事をするなかで、必ずしも子供を最優先にはできない場面はあると考えます。
- 子どもに向き合い、子どものために大人がどのような環境を整えてたらいいのかを考える機会になるのではと思う。そのために必要な大人の生活の見直しや社会の構造について自分事として考える大人が増えるのではないかと思う。子どもの意見も、その時の子どもの状況、経験によって変わるため、それが万人の意見とはならない。人それぞれの知識や経験により考え方は変わり、意見も異なるため、意見の取り入れ方の知識に長けた方のアドバイスを受けながら作る必要があると思う。今までもやっているとは思うが、まずはバウンダリーの考え方を身につけられる教育？をしっかり学校で取り入れ、大人も知っていく機会がつくられるようなものとなるとよいと思う。
- 全体でこどもたちをあたたかく見守れるような地域になると良いと思います。
- まち全体で子どもの育ちを支えていく環境を整えるためには、大人が子どもの権利を認識し、対等な主体として関わることが必要です。そのため、本条例の制定は非常に有意義なものと考えます。

- やらなければならないことが明文化されるのはとても良いことだと思います。
- ないです。
- 子育てについて、子どもにとってこうあると良いという指標ができることはいいと思います。条例にとらわれすぎて、できていないと過剰に自分を責める親がでないかが少し心配です。
- 子どもにとってよい内容にしてください
- わざわざ条例にする必要性があるのか疑問
- 子ども条例自体は良いとは思うが、それが絶対のルールとなってしまうことには不安はある。
- 満員電車やバスでの肩身の狭い思いや、弱い立場だからと威嚇してくる物騒な若者や老人、不適切保育など最近悲しいニュースが多いです。子どもを安心してのびのび育てられる環境のために役立つものであればいいなと思います。
- 具体的な内容については理解できていないですが、手段と目的が逆転しないことを願います。
- こどもを１番に考えた環境を作る事が街の活性化や親子の関係が良くなると思っているのでこども中心な街になってほしい。
- 必要だと思います。私はきょうだい児(兄弟姉妹が障害を持っている子供)として生まれ、親がきょうだいの世話で多忙のため所謂ネグレクトの環境で育ちました。きょうだいが障害者であることが理由で友達から揶揄われたり、異物を見るような目で家族をジロジロと見られたことを今でも鮮明に覚えています。現在は家庭を持ち子育てをしながら仕事をしていますが親から世話や教育を受けた記憶がほぼ存在せず今自分がしている育児が正解なのかも確信が持てず、自分が寂しかったことや嫌だったことを子供に経験させてはならないと思う気持ちを基軸に子育てをしている面が強くあります。生まれた環境が悪くても、子供一人一人が愛情を受けて育つ権利を持っていると強く主張したいです。子供に罪はありません。そのために親の認識も当然ながら、差別をしないと言った市民の認識や理解も深める必要があると思い今回のこども条例には賛成しています。
- 危険な事件などのニュースが報道されているため、安全な環境になるのであればいいと思う。
- 子育てをしていて条例が効果があるように感じることがあまりない。まだ乳幼児だからというのもあるかもしれませんが。
- これからの将来を担う子ども世代に積極的に投資していくことはとても良いことだと思います。狛江市としてスピード感を持って対応頂けると嬉しいです。
- 子ども達にとっていい事とは何かを考え作っていただきたい。
- 子どもの素直な意見をきちんと大人が聴けるように言いやすい環境作りをお願いしたいです。
- 良いとおもうが、権利を主張しすぎ不登校の小学生、中学生が増える事はないのか心配。また、便乗した怪しい主婦ビジネスが横行しており、狛江がそういう人たちの巣窟にならないようにしてほしい。
- まずは実行してみることが大事なため異論なし。
- 子供が楽しくのびのびと生活できそうでとてもいいと思います。意見を聞きすぎるとわがままになってしまいそうなので、言い方に気をつけて違う所は違うとちゃんと正していかないといけないなと感じました。優しい子供が増えそうだなと感じる一方で、仕事をしっかりできるようになるのか心配な部分もあります。

- いいと思います
- 特にありません
- 形だけでなく、実行されるものになって欲しい。実行されないなら意味はないと思います。
- 子どもたちが自分で考え意見を述べることで、一人の人として認められていると実感できる環境ができることはとても大切であると思っています。私自身は子どもの権利などについて学ぶ機会がありましたが、もっと大人たちの意識を変えていく必要があると思います。両親学級や子育てサロンなどでの PR もあると良いと思います。
- 条例で何が変わるのか、何か変わるならそれを押し出してほしい。
- 子ども条例ができることで、虐待などの問題が少しでも防げたら良いなと思います。しかしながら経済格差によって教育を受ける機会が損なわれたりしないように、根本的な部分に対して行政がもっと動いてほしい。
- 我が子にとって最も良いことってなんなのか、親も探り探りなので、保育園や学校の先生が道標になっていただけるのはありがたいものの、子どもは家と外では違う面もあり、親が子どもの特性と向き合い、「最も良い選択」をしていくために学ぶ機会が少ない。YouTuber など今は自分から情報をとりに行くこともできる時代になったが、必ずしも自分の子どもに当てはまるとも限らず、いつもこれで良いのか？と不安なまま日々を過ごしています。
- 子供が健やかに過ごせる様な条例になって欲しい
- 是々非々であり、無理に作成する必要は無いと感じる。
- 大人の意図や考え、子供に理想像を押し付けるような事なく、良い意味であまり大人が介入しない条例になれば良いなと思います。
- 条例の記載内容等については、子どものためのものではあるにしても、子どものためにはその周りも一緒に幸せになることが必要であり、ゴールは決めてもそのための視点はマクロにすべきと思う。併せて、あまり条例に細かく記載する必要はないと思われる。逆に言えば、子どもが見てもある程度理解できるような文量と優しい記載でも良いのではないか。
- 子どもが弱者になりやすいため、このような条例が整備されるのだと思いますが、子どもだけが保護される存在ではない、子を守る大人側も対応に困ることがあると思います。一方的ではなく、それぞれの立場の人を支援する社会になってほしいと思います。
- 理念より、権利や義務などの具体的な規定があった方が条例を制定する意味があると思う。
- 条例によって大人がどこまで変われるか。
- わが子は、18 歳と 16 歳と、もう親元を離れる年齢・もしくは離れる直前の年齢ですが、子どもの権利条約のための保護者向け（プレパパママ含む）のワークショップや勉強会をするのはもちろん、子どもたちが権利を悪い使い方にしないように教育を進めて欲しい。また、市内の小中学校には子どもの権利を理解していない教職員が少なからず存在すると感じた。教職員向けの講習会は必ず開催してほしい。
- 子どもの権利を守ることに肯定的な気持ちを持ちつつも、東京都こども基本条例が制定されている中で、市独自の条例を作ることの必要性に一部疑問を感じる。市独自で条例を策定するのであれば、その意義や、都の条例との違いを考えながら条例を制定していただきたい。また、条例を作ることをゴールとせず、作られた条例をどのように活用してどのように子どもの権利を守るかを重要視していただきたい。
- 十分に子どもの声、実態を把握できていますか（少なくともわが家の小

中学生は狛江市在住だけど子ども条例を作ろうとしていることは知りません)。おとなが子どものためを思って作る条例ですか？私も少しですが身近な子どもたちが楽しく過ごせるようにお手伝いしています、これからもできることをがんばります。

- 条例の存在が一般の市民にとってどれだけ生活に根ざした意味あるものになるのかわからない。条例があるのに守られないこどもが生じた際、その子どもは条例の存在によって心に傷を負うかもしれない。
- ・「当たり前」「そうあるべき」が多様化している中で、子どもにとっての最適を明文化しようとする試みはとても良いことだと思います。・とても難しい話だと思いますが、条例を作りました！で終わらず、その後も継続的に子ども達が幸せに暮らせる環境整備に繋げるような取組を市として進めていく体制が必要だと思います。
- 良いと思います。子供はどうしても権利が蔑ろにされがちです
- 条例ができて、親が守りなさいと言われるだけでは何も変わらないと思うので、守れない場合にどうするのか、相談や支援先もあわせて整備していってもらいたいです。
- 条例ができるのは良いが、それによって何がどう変わるのかのイメージがあまりわかない。
- 3 人以上子育てしている家庭にもう少し援助が欲しい。人数が多い程、出費はかさみ、世話等にも時間がかかる。例えば有料ごみ袋の配布、小学生以上の医療費無料、ヘルパーなどの利用に対する支援など。子育てしやすい環境であれば、子どもをまた欲しいと思えます。
- コロナ禍でマスクの強制や学校副校長からの差別行為、差別発言、おどしのような圧力があった。子供の権利がない状況だった。アレルギーやその子特有の体質など、考えもしかり、子供個々に向き合い、柔軟に対応していく必要があると強く感じた。当時守ってくれる頼れるところがなく傷付き悲しい思いをしたので、そのような事が 2 度とないようにして欲しい。
- 良いと思う。子供たちの人権が守られる社会であって欲しい
- 「子どもにとって最もよいこと」という言い回しが気になる。子どもからすると、すべて自分の希望どおりになると勘違いさせてしまう。本人は望んでいないがあなたのためになっている、ということは少なからずあるので、そういった勘違いをさせないような言葉選びが必要だと感じる。
- 市民の意見、また仕事などをされている現場の意見をしっかり聞いて、本当に必要とされていることを取り入れて欲しい。また、世間の風潮により極端に偏りすぎず、世間体を意識した少数派の意見が採用されないことを求めます。
- 良いと思う。
- 夫婦共働きで、これから子供が小学生になるにあたり学童の定員の少なさに不安を感じているため、子供が幸せに暮らせる環境のひとつとして学童の充実に期待している。学童に入らなければ片親は仕事を続けられず、金銭的に子供が幸せに暮らせる環境がなくなるため、ぜひ早急に対応いただきたい。
- できたところで何も変わらない気がします。
- 自分の意見を言えるようになること、相手の意見を聞いて受け入れ、お互いに尊重できるような人になってほしいので、意見の尊重は良いことだと思います。
- 新たにできることになり、素晴らしいと思いました。
- 条約を守るために、どのようにして子どもを守るか、大人がどうあるべ

きかが欠落している印象を受けます。昔、歩きタバコは子どもの目線にあり危ない、そういうこともあり、歩きタバコの危険が言われて基本的には禁止となったと記憶してます。同様に、具体例の一つとして、大人の咳やくしゃみが、混雑のなかで一番受けるのは背の低い子どもたちで、それにより、子ども間の病気が広まり、親を通じて社会に還り、その病気に対して弱い方がお亡くなりになる。これを、咳エチケットだけで収めるのではなく、子ども目線でどうか？という議論が必要と思いますが、全然できていないのが現状と強く感じます。社会全体で捉えるべきなのに、アンケート対象は、親や育児・教育関係者としていることが残念です。歩きタバコの例のように、自分は関係ないと思っている大人たちを取り込むような施策を検討してはいかがでしょうか？

- 子供の学ぶ機会や選ぶ機会が均等になればいいのと、子供との時間をたくさん設けたいものの、仕事の都合等で子供との時間が設けられない親へのサポートができればいいとおもう。
- 親の目が行き届かない事があっても、子供が安心安全健全に暮らせる環境作りを期待します。
- とても良いことであり、子ども中心で、子どもの声から作って欲しい。大人にとっての理想やあるべき子ども像の押し付けにならないようにしてほしい。また多数の子どもの都合ではなく、不登校や社会的養護など少数で声の小さい子どもにとっても最大限の利益になるような条例となってほしい。
- 子どもの定義が気になりました。また、お子さんがいない方にも配慮及び関わりがある内容にしていただきたいです。
- 世界で定められた条約を市民参加で地域レベルに落とし込んで再構築することは、市民にとって身近に感じられるきっかけになってよいと思います。
- 本当に子どものためになる条例になることを望みます。子どもが受けたい教育を受けられる権利。それが私立学校であれば、小学校から無償(補助)にするべきです。家庭の経済に関わらず。狛江市がそこまで真剣に考えることを切に望みます。
- 子どもにとって何がよいかは、そんなに単純ではないと思います。様々な価値観に触れさせ、悩んだ事が大きな実になることもあるので、答えありきの条例ではなく、地域で根気強く見守っていきたいものです。
- 子ども条例ができても、何も変わらないのではないかと感じます。子育て環境や、子どもにとって狛江市に住んでよかったと思うように、キャッチフレーズだけでなく、働きかけを皆でできたら嬉しいです。
- なし

5 -②　調査結果（18 歳以上の大人）　※子どもに直接関わる職業の方（いわゆる現場で、子どもたちに関わる先生方）及び行政職員

【Q5.（仮称）子ども条例ができることについて、率直に思うこと（良いと思うこと、心配に思うこと、条例の内容に　ついての希望　など）ありましたら、教えてください。】

（自由記述一覧）

- 日頃から子供と関わる仕事をしており、市内の小中学校の様子も子どもから直接聞いている。そこから感じることは権利ばかりを主張し、他人を思いやる心は育まれていないということだ。学校生活からもとてもその心は育まれる環境はないだろうと感じる。授業中の立ち歩き、私語は日常茶飯事。先生たちからは怒られることがなく、子どもたちの中ではそれらが当たり前になっている。授業以前の問題である。モラルや躾を親が教えてやるべきだ。このままでは権利や尊重ばかりで、義務や責任を知らない。大人が出来上がるばかり。その様な人たちが狛江市出身となって恥ずかしくないのか？地元民として強くそう思う。親をはじめ、地域の大人がしっかり善悪を教えることが優先だ。権利や尊重を履き違えないでほしい。
- 条例化されることによって、子どもの意見を聞く場を増やすことの後押しに繋がるのではないかと思った。子どもだからといって意見を聴取する機会を設けないのではなく、子どもだからこそ大人の持っていない視点での貴重な意見を引き出す良いきっかけになると思った。子どもの人権を考えるきっかけにしたいと思う。
- 良い試みだと思います。意識していきます。
- 子供の権利を守ることは大切であるが、成人するまでは親の庇護の下にある。子供の至らない部分は親がカバーしなければならないし、それが親としての当然の責務である。何も分からない、良し悪しの判断能力を持たない子供の意見を聞く必要があるのだろうか？子供が間違った方向に進まないように導いていくのが親の責任であろう。狛江市では、こんな条例を作らなければならないほど子供が虐げられているのだろうか？親が子供の面倒を見ず、貧困に喘ぎ、路頭に迷ってるストリートチルドレンが大勢いるのだろうか？そうではないだろう。それならば子供条例など必要ない。少なくとも狛江市に、こんな条例は相応しくない。このアンケートも内容がおかしい。こんな抽象的な質問で答えろと言う方がおかしい。Q3 子供の意見徴収に関して、当てはまるものを選べ。何の意見ですか？あまりにも質問が抽象的過ぎる。子供は子供。意見もくそもない。大人が責任を持って、正しい方向に導いてやればいい。それだけのことだ。こんな無意味で無駄な条例など必要ない。
- 未就学児は子どもよりも、大人への援助、支援が目立っているように感じる。そのことも大切だが、子どもの権利や最善を考えられるように、通う幼稚園、保育園の子どもに対する職員数を増やして、適切に対応できるようにしていただきたいです。
- 子供の健全育成に役立つないようにしてほしい
- 子どもの権利なので、良いことだと思います。
- 特にありません
- 子どもが守られる内容
- 市民のみなさんが、子どもの権利条例に関心を持ってもらえることを願っていますし、そうなるキッカケになると思っています。
- 特にありません
- 特にありません
- 子ども条例の内容を具体的には知りませんが、そういった政策の最近の傾向として「子どもへの理解や権利の保護」という側面は重視されます

が、「社会性を身につけるための指導と、子どもの主体性を奪う指導との違い」という観点が抜け落ちているため、子どもの権利のイメージだけが膨れ上がって、社会性を身につける機会を言わば失ってきた子どもたちが社会に出た時に困る傾向があると思います。子どもの権利の条文と共に、現場を守る条文も作成していかないと、教育現場は人手不足がさらに深刻化すると思います。虐待防止に振り切りすぎていて、それ以外の適切な指導が何かがわからなくなった条文になっていたら困ります。すでに大人の人たちには、そのことも覚えておいてほしいです。

- 現代の子どもについての認識を広め高めることを希望します
- 子どもの条例ができると子どもの権利を保障できるので良いと思います。
- 条例が出来ることで、子どもたちの権利が守られることになるので良いと思う。
- 思考中
- ないです
- わかりません
- 良いと思いますが、公表の際は話の前後も含め公表してほしい
- 子どもの人権が守られて最善の利益が保証されるようにしてほしい
- 子どもたちの考えや気持ちを身近に感じることができて良いかと思う
- 権利ばかりでなく義務についても触れられると良いと思います。
- 子供たちに対して条例の伝え方が大切。子供たちは都合の良いように捉えてしまう。
- 条例ができることで、子どもたちの何が守られるのかが明文化され、それが行動のモノサシになることで、何をしたらよいのかわかりやすくなること。
- 子供の意見を聴くという意識ができることは大人の考え方を変えていけると思う。
- ただの甘やかしにならないよう子どもの意見を尊重しつつこちらが良しとしていることも伝えたいが、それが大人の勝手な押し付けになってはいないかが心配
- 特になし
- 小学生と年少の母で保育園の保育補助をしている者です。子供の権利を守り、意見を尊重することに私も賛成いたします。自分の意見を表現できる子供はいいですが、中にはうまく言えない子もいます。それは家庭環境だったり性格的なものもあると思いますが、まずは子供の身近な環境に意見を受け止められる大人が必要不可欠だと思います。家庭はもちろんですが、子供が日中過ごす教育施設の大人こそ心の余裕をもち、慈愛に溢れていなければなりません。今就業している保育現場ですが、責任のある保育者のその時の感情だけで、現場の雰囲気がギスギスすることが多々あります。お子さんのいる家庭をもち、激務であれば仕方のないことかも知れませんが、それが現状です。同じ現場にたつ私たちもそんな時は何もなくてもピリピリしますし、それは子供にとっても不幸なことです。まずは教育現場に携わる先生方の就業改善を切に願います。
- 子どもは"弱いもの"とみられてしまうことが依然としてあるなと思っていたので、"1 人の人間"としてみていこうとする風潮はいいなと思いました。ただ、子どもの権利を守るためには、大人の労働環境、労働条件をまずは整える必要があると思います。残業代が出ない、配置基準が低い、給料が低い、人を雇うお金がないなど、まだまだ保育・教育現場の労働環境が悪すぎると思います。もっと子どもの思いを聞きたいのに聞く時間がない、それができない自分は保育士に向いてない、やめたいと

思う人が自分を含めて多々いる状況です。子どもだけでなくもっと広い視野を持って改善してもらわないと、どんどん人は辞めていくと思います。全国一斉ストライキをしたいくらいです。

- さまざまな自治体の例をたくさん参考にしてもらい、よりよい、現代にあった条例を作成してもらいたい。
- 良いと思う
- 近年、外国ルーツの子どもが増えており、彼らが適切にケアされているか気になっている
- 折角なので、子供が持つ権利を子供が読んで分かるように理念を条文化して欲しい。
- 子どもの意見をしっかりと聞くということが、条例となることは良いことだと思う。が、子どもの意見を聞くことと、子どもの言いなりとは違うと思うので、その違いも大人がしっかりわかるように補足がある方がよい。
- 子どもといっても年令に幅があるので、大人のように条例として一括りにすることは中々難しい部分があるのではないかと思います。まずは最大公約数的な部分から始めて、すこしずつ調整していくのが良いと思います。
- 貧困のせいで子どもたちの未来が狭められてしまうことはあってはならない。
- 仕事上、子どもの安心安全の要であるはずの家庭において、子どもの権利が守られていないという場面に多く出会います。親の顔色を伺いながら子どもらしく育つことのできない子どもが一人でも少なくなるよう、社会全体で子どもの権利について考え、守っていくことが必要と考えます。そのためにも条例の制定は必須だと思います。
- どの子どもにも、「子どもが意見を言える権利」や方法について、正しく知らせることが、一番大切だと思います。また、行政に関わらない大人に対しても、条例の内容について、広く伝えることが、重要と思います。
- 子どもの声を前向きに捉えて行くことは大切なことだと思う。課題があったら、なぜ課題かの意見交換をして行くことが大事だと思う。
- 4 つの条例はどれも当たり前の事であり、あえて意識しなければできないことが問題の世の中だと思うが少しでも気づきを得る大人が増えることを願う。また子どもの意見を聞いたあとにどう判断し、どう行動していくのかを考えられる大人でなくてはならない。子どもの言葉の裏側にあるその子その子の背景や状況も読み取っていく必要がある。経済的に恵まれていても心が貧しい子どももいる、その逆もある。いかに目の前の子どもを知ることが次に繋がるか否かである。学校教育においても自由な考え、個性を伸ばす教育をすすめ不登校が減ることを願う。まずは大人が変わることが必要なのかもしれない。
- 子供の意見(思い)を聞く事は大事な事ではあるが、その全てが自分の思い通りになるとは限らない事も学ぶ事も大事であると思います。
- 全ての子ども愛し大切に思う心が全ての大人にあれば条例は必要がない、逆に大人にこのような心がなければ条例があっても子どもの権利は形式的なものとなり真の意味で全ての子どもの健やかな成長と心の安定は得られない。そのように心の問題を条例で実現しようとするのは本末転倒と言わざるを得ない。条例を作る前にすべきことがあるのではないのか。
- 子どもを見つめなおす気づき等で使えるといいです
- 子供条例の内容を具体的に知らないので、何とも言えません。
- こどもたちが思ったことを口にできること。家庭環境改善。

- 子どもの声を聞けるようにすることは良いことだと感じる
- 子供の権利を明文化することは、そのようなものがなかった時代を過ごした大人の意識改革に役立つと思う。セクハラ、パワハラ等の理解と改善に長い時間がかかっているが、関わる人たちが積極的かつ多くの情報発信の協力を行い、少しでも早く周知が進むことを願っている。
- 子どもは国の宝であり、国の安定した存続のためには、子どもを増やすことと、子どもへ質の高い教育を提供することが必須と考えます。子どものためにできることを市町村レベルで考えることはとても良いことだと思います。今回のアンケートで集まった意見を整理し、良い条例ができることを願っております。
- 子供の権利を尊重できる、
- 素晴らしいことだと思う。心配なことは保護者が理解できていないケースがある。保護者の中には自分の子供になら、何をしても良いと、誤った考えを持っているケースがある。
- 「大人が中に直接的に入らず、子供主体で話を進める」というのは簡単だが、現実的に大人が主導してしまうのではないかと思う。何のための条例なのか、大人がルールを厳守出来るのか、厳守出来ない場合罰則はあるのか、等具体的に決めていなかなければやる意味はない。子供主体で話を進める、考えるというのは大人の尺度では必ずしも成功ではないし、また、非常に時間がかかるものである。大人の尺度で一定の成果を上げなければならないので、子供に急かす事をしてしまうと本末転倒であると思うので、ルール作りは厳格に。
- 条例の整備作業自体が、とかくこうした取り組みにありがちな、自己目的化しないかどうかが懸念材料である。
- 子ども支援に関わる他の組織と横のつながりがなく、狛江市の子ども支援の全体的状態が見えてない
- ①大人が時間に余裕がある時に意見聴取するのではなく、当たり前に行うように、さまざまな仕組みを整える必要がある。学校、保育園、児童館だけでなく、公園、駅、図書館、その他の公共の場など幅広く。②障害者、高齢者と同じように、乳幼児も含めて、誰にもわかるような表現を積極的に行うことが困難な対象からも何らかの方法で、気持ちや意見を受け止めるようにしてほしい。③第三者機関での苦情受付や困難な問題を代わりに一緒に解決する部署を作ってほしい。④見直しを定期的に行ってほしい。条例や規則も。
- 子どもを守らないといけない立場の大人、保護者や先生などの経済面、精神面が安定している事が子どもとちゃんと向き合う事が出来るようになるのではないでしょうか？格差社会を感じます。片親だと好きなスポーツや学習塾にも行けない状況です。
- 大人のエゴや先入観ではなく子供達の為の内容に。
- 子どもの意見を真摯に受け止め、実行していくことは、重要だと思っています。我儘を認めるのか、という意見もでてきますが、なんでだめなのかもきちんと説明していくことが大切だと思っています
- 子どもたちの声が反映され、子どもたちにわかりやすい内容になってほしい。いろいろな立場の子どもがいることを考慮に入れてほしい。
- 世界人権宣言やこどもの権利条約などが出されてからだいぶ経つが、今更こども条例を制定する目的を知りたい。
- 形骸化せず、実行まで移せるようなものになって欲しい。
- 気軽に相談してよいこと、秘密は守られることなどを広く伝えてほしい
- 特になし
- こども達が未来の狛江市を作っていってくれるので、大切な存在と思う。

こども達が安全に楽しく暮らせる地域であってほしい。

- 条例を大人の解釈で、その内容を子どもたちに押し付けることがないとよいと思います。子どもにとっての条例が出来上がることを期待しております。子どもたちの意見や言葉をたくさん取り入れてほしいです。
- 虐待防止などを目的として子どもの権利が守られるようになることは大変良いことだと思う。ただ、最近見ていて思うのは、教育の現場でも子どもに我慢をさせない状況が見受けられ、教員に関わらず子どもに対して教育・指導ができているのだろうかと感じる。子どものうちだけ我慢をさせず、大人になれば社会人として礼節を弁え我慢をしなければならない、この段階的な矛盾は転換期だからなのか、いつも疑問に感じる。我慢ができない大人が増えた時の社会がどうなるのか不安に思いつつ、適応していかなければいけないのだなとも思う。
- 子供、子ども、こどもの表記がトレンドによって変わるので、永く掲げられていく条例としてふさわしい表記がされたらよいと思います。
- 子供が、自分の意見を表明したり、大人からの縛りを受けずに自分の意志で行動を決めたりする権利があることを知るいい機会だと思う。内容として、人に迷惑をかけたり傷つけたりすることが許されると勘違されないように、表現を考えてほしい。
- 内容によるが、大人には無い発想の子供の発想、意見が取り入れられるのは良いと思う
- 条例だけつくっても、反映される仕組みや人的体制がなければ、絵に描いたもちではないか。
- 子どもの意見を尊重することは率直に絶対に守られるべきことだと思います。未就学児や言葉を話すのが苦手な子どもの意見も行動から、周りの大人が適切にくみ取るべきと思います。
- こども条例ができて、こどもの権利が明文化されても、あくまで未成年者であり保護者の管理・監督下にある。職務上、子どもとの関わり方が変わるのか、理念条例に過ぎないのか疑問に思う部分がある。
- なし
- まず子どもたちの意見を聞く、反映する、実現していくというスタンスを持つことは必須でとても良いことであると考える。この前提がありつつ、一方で率直で自由なゆえ言いたいことを好き勝手に表現する点も出てくると考えるため、精査が必要であるとも考える。子どもたちが意見表明し、子どもたちで審査･精査する仕組みもあっていいのかとも思う。ぜひ、自分たちの意見が世の中を変えるという、前向きな体験をしてもらえたら、狛江市にとっても日本にとっても良いことになると感じる。
- 私自身、勉強不足のため、条例の実効性（条例ができたことにより、具体的にどう変わっていくか）について、まだよく理解できていません。子ども条例について聞いた当初は、市内にのみ効力のある「条例」を制定する必要があるか否かについても、疑問に思いました（勉強不足で申し訳ありません）。
- どういう条例を盛り込むのかわからないので、想像できない。
- この条例ができたことで、実際に子どもたちが、よりよくなったと実感できるようなものになってほしい。
- 子どもが自分の意見を明確に持てるようになるまでには、成長の過程としてかなり大きくなってからではあり、それより前の時点では実際には親により生活環境が左右される状況下にあるため、難しいところがある。この点をどのようにクリアするかが課題だと思う。
- 特にない
- 条例により、子どもの諸行動に制限がされること

- 還元のされ方次第で、子供達のためになる有効な条例になると思います。
- こどもの意見を大切にできること
- 良い取り組みだと思うが、内容は良識ある大人が精査すべき
- 子供のことが考えられていていいと思いました。
- 権利主張だけではなく、義務についても同時に考えられ、良き社会の担い手となれるような子どもが増えるような仕組みづくりを期待します。
- 権利ともに責任も明記すること。
- 特にない
- 子どものことを第一に考えて実現できることは実現できるようにしていきたいと思う。しかし、内容によっては心配に思うこともあると思うので、うまく条例が決まるといいと思います
- 狛江市として最終の形がイメージできているのでしょうか。リーフレットを見ても狛江市として、何をゴールにして条例を作るのか分かりません。狛江市はイメージがない見切り発車が非常に多い。子どもと作る、聞こえはいいですが、教育現場に丸投げとかにするような、形だけの条例なら辞めたほうがいいと思います。このアンケートの選択肢もよろしくないです。「日常的」と「定期的」にそれほどの差はありません。むしろ子どもたちの声を聞きたくても、こういうアンケートや不要な庶務で子どもと話をする時間を削られています。「時間がない」という選択肢こそ作るべき。
- 特にありません
- 子どもにとって安心して生活できるものだと思う。しかし、意見の尊重で「何でも言うことを聞いてもらえる」「自分たちは偉い」のような感覚をもちすぎると怖いと思った。
- 子どもの権利を守ったり保証したりすることは当然だと思うので、良いことだと思います。
- 子供の権利は保障していくべきだが、権利を主張するには義務について考えなければなりません。義務なき権利は、いずれ破綻します。子供達の中でどれほど権利と義務の関係を理解できているのか、また、何年生(幼児を含む中)の制限か気になる。
- 条例の制定は、子どもが権利の主体であることを子ども自身が自覚するきっかけになるものであり、よい。
- 子どもにも大人と等しく権利があることは、大人も子供も理解して行く必要があることに異論はないです。子どもだけ特別扱いという訳ではなく、大人子ども関係なく相手を尊重した接し方をお互いにできるようにしていきたいという趣旨が伝わるように周知していきたい。権利を主張した者が強く出るというような風潮が高まっていることには、日本の将来に不安を覚えるので、正しい意見の主張の仕方や合意形成の仕方など総合的に周知して行く必要があると考えます。『権利』という言葉が一人歩きしないように配慮したいです。
- 良い取り組みだと思いますが、一緒に考える子どもたちが条例というものについての理解がきちんとできた状態で話し合ったり考えたりできるのかは心配があります。
- いい取り組みだと思います。
- 子どもの権利という言葉がきかれるようになって久しいですが、権利をもつとは、意見表明する機会を得、それが反映される可能性をもつという具体的な動きになるということがやっと示されたと感じています。
- 狛江市に子どもの権利の条例が出来ること、とても素晴らしいと思います。ぜひ、「子どもには失敗する権利がある」という主旨を入れてください。大人は、子ども達に失敗させないように予防しがちですが、子ども

から失敗する経験を取り上げることは良いことではありません。子ども達が失敗して、痛い思いをして、そこから学べるよう、失敗する権利を保障してほしいです。

- 条例を作ると同時に、その趣旨を浸透させるために具体的にどんな施策を行うのかを明示すること、条例が生かされているかどうかを子ども主体で定期的に点検する仕組みを作ること、条例に反するような事実に直面した時についてどのようにして声をあげたらよいのかを丁寧に教えることなどが不可欠だと思います。
- この条例を、大人だけで作るのではなく、子どもの意見を聞いて活かしていくことに大きな意味があると思います。私の勤務する園がある自治体でも既に制定され、園内だけではなく、地域の小学校や団体と学びの場を設けるなど、制定して終わり…ではない取り組みが行われています。そして私の園では、子どもを市民に例え、何か話し合うべき事案が出てきた時に、子ども議会と称して、子ども自身が考えるという場を設けています。この取り組みを行うことによって、友だちのことをより理解しようとする姿勢や、平等に話を聞く様子が多く見られるようになりました。「子どもまんなか社会」の実現のためにも、1 人ひとりが尊重され、お話ができない乳児の時代から、その思いに耳や目を傾けてもらえるような温かい関わりが生まれることを願っています。そして、ここ狛江で育ったことを誇りに思い、生きる力を育んでいくことができるよう、見守り支える大人でありたいと思います。

5 -③　調査結果（18 歳以上の大人）　※上記以外の市民（n=280）

【Q4.（仮称）子ども条例ができることについて、率直に思うこと（良いと思うこと、心配に思うこと、条例の内容についての希望など）ありましたら、教えてください。】

（自由記述一覧）

- 子供条例という、子供の名を借りた、大人の権利に利用される事を危惧します。
- 宗教二世問題などの当事者でもあるのですごく関心がある。子ども自身の権利こそまず第一に保障されるべきである。
- 子ども条例はあまり必要だとは思いません。もともと国連からの押しつけですし、子供は一人の人間として尊重されるのは当然ですが、両親のもとで健やかに愛情深く育てられることが大切だと思います。子供の意見や権利の主張を聞いて共に考えることは大切ですが、権利ばかりを主張するような子供ばかりでだめだと思います。やはり日本人としてこの世に生を受けた幸せや日本人としての歴史や文化を学び子供の役割社会への貢献など、総合的にとらえて、かけがえのない人生をおくるとして人間の使命をまず教えるところから始めることが大切と考えます。
- 子ども条例とは国連の勧告を受けて日本政府や自治体が取り組んでいますが、日本には日本の教育のやり方があります。我々がやるべきことは日本の文化伝統を愛し、日本人としての誇りを持って世界に貢献できる人間に育てることです。人間の人格の大部分は教育によって培われて行きます。狼に育てられた子供は人間社会に入っても人間になることは出来ませんでした。人は放っておけば自然に「人間になる」ものではありません。教育によって「人間にする」のです。生まれて人格形成過程にある子供達に善悪を判断できる物差しを与えて、道徳観を培ってやるのも親の義務です。時には我慢することもきっちり教えなければなりません。過度に子供の意見ばかりを尊重すれば「我がまま」がまかり通ることになり、まともな大人に成長するはずがないでしょう。「子供の意見が正しい」のであれば選挙権も物心がついたときから与えるべきです。しかし実際には政治はおろか善悪の判断さえできない子供達が選挙権を持てるはずがありません。法律で 14 歳以上と未満をきっちり分けて対応しているのも、14 歳未満は正しい判断力を培う過程であって、責任能力を問えないからであり、14 歳未満の行為は親が責任を持たねばなりません。親が責任を持つと言うことは 14 歳未満まではきっちりと子供を育てる義務が親にあり、子供の意見を聞くことよりも、まず善悪を判断する物差しを与え、人間としての常識を教育して「人間にしてやる」ことが重要であり、「子供の権利条例」のような法律でこれを妨げるようなことは決してあってはなりません。法律が家庭内の子育てまで介入するのは全体主義国家がやることであり、自由民主主義国家である日本では絶対にあってはならないことです。
- 広く知らしめるにはどうすればいいか？世代間で情報の伝わる方法が異なる時代になった。このアンケートはラインで 17 日に知った。
- 子供の命を守ることを最優先に考えた条例であって欲しいと思います
- 子ども条例など必要ありません。それより子どもが自分の国に誇りを持てるような教育が必要なのではないですか??
- 子ども条例などわざわざつくる必要はありません。日本は差別もない、子ども、お年寄りをだいじにするのは当たり前の国です。これは公金をせしめ、日本を混乱させようとする勢力の動きなのだと思います。断固反対します。真面目に働いている若い人達にもっと税金を使って下さい。
- 子どもたちが差別される事なく、安心して育つ環境は、必要だと思う。

アンケートは、ちょっとわかりにくかったです。

- 子どもが差別されないということは、大人と全く対等に扱われることであることを強調した条例にしていただきたい。障害や家庭環境などによって差別されないという意味と捉える方が多いのが問題です。子どもであることによって、守られる存在と見なされ、大人並みに扱ってもらえない状況こそが、差別であるということが理解されていないケースが多いのです。また、子どもの成長という言葉だけではなく、「成長と発達」という言葉を併用することが重要です。本欄の上記の子どもの権利条約の抜粋で、3番の所に「命が守られ成長できること」としか書かれていないのは、国連の権利条約および こども基本法に照らしても不充分な要約です。成長は本来、身長や体重等の増加をさし、発達は身体機能と心理の発達全般をさします。成長と発達を並び称してこそ、心理的虐待等を防ぐ理由が明確になります。
- 少なくとも、子どもを大切にしているということに対して、力を入れているのだと内外に表明することができるので良いと思う。
- 市が考えることはとてもいいと思います
- 狛江市に子育て家庭が増えて市民まつりなどで幸せそうな光景を見てうれしくなります。でも貧困や親からの虐待、いじめなどで悲しい思いをしている子どもも一定数いるはず。その前提に立って子どもが困っている時に気軽に相談できる窓口が必要。そこが解決に向けて関係者に助言できる権限を持たせることも大事です。また画一的な学校教育の中で息苦しさを感じて、不登校になっている小中学生が狛江で自分らしく生きていけるような支援を狛江市が行うことを希望します。
- 各家庭で当たり前に教えることなので、条例を作る意味が分かりません。条例を作ることによる弊害の方が大きあと思います。学校の先生の立場も、大きく失態しそうで、真っ当な教育ができなくなってしまいそう。
- 子どもを適切に成人させることができなくなる懸念がある。
- 日本の条約批准が約30年前くらいと記憶しています。その間、どの程度、日本が政策的に進めてきたのかわかりませんが、子どもは大人の言うことを絶対的に聞くものというものではなく、子どもの意見も尊重するという国であってほしいと思います。
- 子ども同士が差別感情を持たないような教育を学校の場で定期的に行われるプログラムを、予算とカリキュラムの中で特発的ではななく、日常的に行われるように望む。教員の研修も必須。
- どの子も出来るだけ平等な環境で安全に学べるような条例が制定されることを希望します。
- 希望、全ての子どもが、道徳を理解できる環境、地域で支え合える環境に置かれることを目標とする条例となること
- 子供が主役になるから
- 正直ようやく…と言う思いですが、先ずは一歩踏み出しに期待します。大人の思い込み・上から目線の条例大網にならない事を望みます。子どもの力を信じる事を前提に、今の社会ルールや義務とか、モラルとかでしばりをかけると、「どうせそうなんだ」とガッカリ信用されないものにはならないと良いなとも思います。狛江の子ども達に喜ばれ歓迎され、未来に生きる指標になる内容になるように希望します。意見表明を受け止める、アドボカシー・アドボケイトの体制まで、市政で考慮されていることを望みます。
- 良いこと、問題点など現状がどうなのかをしっかり把握し、良いことを伸ばし問題点を潰してゆく為に有用であることが大切かなと思います。
- ５０代まで公立の保育園の保育士でしたから子どもの権利条約も知っ

ていました。６０代に社会活動を立ち上げ、イベントの体験会などの活動でも子どもに接する機会はあります。子どもを待てなかったこともあり子どもと接する機会はとても楽しみです。しかしそんな機会に子どもの言いたいことなど腹を割った意見などを聞けるわけではありません。また活動の性質上ヤングケアラーに遭遇することがあって、本当に大変そうに見えますが、関係が深まるような活動ではないため、いろいろな支援があることも伝えられるわけではありません。でもむしろこの活動では、家庭の内情を知らないことでお互い笑顔で「元気でしたか？」「大きくなったね！」と声を掛けられる活動なんだろうと思います。スクールソーシャルワーカともつながることが多いのですが、現場で相談に乗っている大人には、ぜひ一人一人に寄り添っていただけるようお願いしたいです。子ども条例が様々な環境で狛江に育つそれぞれのお子さんの意見が反映され、豊かな子ども時代を過ごせる様「子どもの”権利”条例」であることを心から望みます。

- 日常的に子どもとほぼ接する機会のない大人こそ、子どもの権利条約などに目を通し、子どもをとりまく環境をせめてまずは頭で理解する必要がある。条例ができたあとでも、日常的に子どもに接している方々による大人向けのセミナーや子どもと出会う機会を設けて、普及に取り組んでもらえると、より意義のある条例になると思う。
- Q3 の問いは今の私の環境からは非常に答え難いです。質問内容の意識ではいますが、現にできているのかどうかは経験が少なく、答えられません。いまは恒常的に子どもと接触する環境にありませんが、時たま、会合や街中などで声をかけ、かけられ、おしゃべりをしています。元気な声を聴くことは高齢者にとっては元気をもらい、明るい気持ちにしてくれます。子どもは未来の担い手。そうした中で、様々な差別やいじめ、虐待、貧困等で苦しんでいる子どもは国内でも少なくはなく、狛江市も例外ではないと聞きます。昨年７月に山下淳一郎先生の話があり、そこで「子どもの自由な意見表明とそれに対する応答的な大人の関係が核心です」と聴いたことが心に残っています。また、「条例をつくるならアセスメントがなければ絵に描いた餅」はなるほどと思いました。定期的に権利保障の状況を検証して欲しいと思います。差別やいじめ、虐待を無くすことはもちろん、子ども達から自由に伸び伸びと意見がだされ、それを受け止められる社会は平和な社会かと思います。そうした内容を盛り込んでいただきたいと思います。また、私も現役時代は余裕がなく、自分の子どもの声・意見を十分に聞いてから話し合っていたかといえば、疑問です。子どもの声をゆったりと聴ける大人側の「余裕」が必要なのではないかと思います。直接子どもと関わる保育士・教員のハードな環境の改善、保護者の働く上での心身ともに余裕のある労働条件の改善、貧困の改善なども、子どもの権利を実行する必要条件と思います。「子どもの基本条例」にも盛り込んでいただけないでしょうか。なお、条例を作成するなら「子どもの基本条例」と「基本」を付けた方が内容を端的に表し、分かり易いと思います。
- 特になし
- とても良いことだと感じています。親の権利も大切ですが、それ以上に子供が独立した一人の人間として尊重される内容になることを望んでいます。
- 子どもだけで、のびのび遊べる場所、子どもが気軽に相談できる場所が増えると良いと思う。
- とても素敵なことだと思います。少子高齢化が進んでいて、将来１人あたりがこなさなければならないこと・役割が増えていくと思うと、子ど

ものうちに健やかな身体と心をつくれる環境で成長させたいと考えます。このような子どもに関する条例ができることにより、日常の中で市民一人ひとりが少しでも子どもについて考える時間が生まれることを望みます。市役所だけでなく普段目に見えるところに、条例に関するようなものを、押し付けない程度に掲示などしていただけたら嬉しいです。強く来られすぎると、考える前に嫌悪感を抱いてしまうような方もいらっしゃるので。

- 子供のみんなにはすくすくと育ちやすい環境で安全に過ごして欲しいです。
- 条例が出来ることによって、保護者の子供教育(しつけ)が疎かにならないような配慮も必要と思います。
- 子供が意見を言う場はどのようになるのですか　子供会議などあればいいですね。親世代の余裕も大切　大人が窮屈に生活していると子供に皺寄せが行くと思います。狛江に美術館を作ってください。所蔵品が無くて企画展のみの美術館でもいいです。狛江の子供達が学校のクラス単位でいつも鑑賞出来るような狛江はお祭りが多くて楽しい町ですが文化的なものは少ないです
- 条例が出来ても実際に子ども達が守られなければ意味がないので、大人に浸透出来るように考えなければと思う
- 子供たちのの将来を考え市民全体で護っていくという基本的な考えは必要。但し、昨今諸般の事情から子供への指導が及び腰になっているケースもあり、対策が必要だがバランスが難しい。
- （リーフレットを拝見しました）条例の内容について違和感があるわけではなく、ぜひ進められるとよいのでは、と思いました。ただ素朴な疑問として、児童基本法の理念のみならず、狛江市で特別に条例を作る意義について、よく分からないままだと感じました。大方針として「子育てしやすいまち」を目指されているとか、(無いと思いますが) 子どものいじめや児童虐待が横行しており市民の意識改革が必要だとか、何か検討に至った狛江市特有の背景事情があるのなら知りたいと思いました。また、私どものような、子どもがおらず、地域のお子さんと接する機会がほぼない家庭についても、この条例によって何か具体的に変わることはあるのか、あるとしてどのように変わるのかが気になりました。
- 子どもの権利は守られるべきであると思うので賛成します。何かを制限されるのではなく、危険から遠ざけられる権利があるとよいとおもいます。
- とくになし
- 抽象的ではなく具体的な文言で
- ありきたりですが“子供は宝”です　過去に子供達に接する団体活動をしていました
- また、小・中学生の孫もいます。また、機会があれば活動をしたいと思います
- 回答らんの意味が良くわからないところあり。締切までの日数が短い。子どもの権利　となぜしないのですか？
- 条例によって子どもが差別なく、また大人が見守れる社会になれば良いと思います。
- これからの将来を担っていく子供たちにできることを最大限やるために条例としてルール化することはとても重要な事だと感じます。
- 少しでも早く、子ども条例が実際に運用して、大人たちに理解され、履行されることを願っています。
- 子供が子供らしくあることが制限されることが無いのはもちろんです

が、そうでない子がらしくないとされずどのような子もその子の望む振る舞いが許されるものであればいいなと思います。

- 価値観の押し付けにならないように気を付けなければならない。個の尊重と社会性のバランスを考えなければならない。
- アメリカや欧州のように、極端になっていかないでほしい。
- 小さい子供を持つ家庭や生活に不安のある家庭の子供の補助・サポートが充実している自治体だといいなと思う
- 条例が無いと、子どもを　育て守る事が出来ないのでしょうか…
- とても良いことだと思います。少子高齢化が進む状況下、若年層&子供達が暮らしやすい環境を作っていくべきだと考えます。シニアへの投資は程々にして、将来ある子供達に市の財政を使うべきです！
- 子供が「自分らしく」を履き違えないように見守っていかなければと思います。
- 子どもは大人の所有物ではない。1 人の人格を持った人間。主体的に捉えるを忘れてはいけない
- せっかくあるのに、ちゃんと機能できているのかが懸念。
- 子供は、無限の可能性を持ってこの世に生まれてきます。保護者をはじめ周りの人達が、子どもに影響を与える存在であることを思って接していくことが大事です。条例も大事ですが、条例にそった啓発がより大事です。そのような取り組みを考えていきましょう。
- 子ども権利を守るためにはとてもよいことだと思いますし、大人にとっても、これまでの子どもへの対応を振り返って考えるよい機会になると思います。ただ、条例を大人がよく理解して、子どもに伝えないと、都合の良いように、子どもが解釈することもあると思うので、大人が正しく理解することが大切だと思います。
- 必要なことだと思います、
- 新しい試みで関心がある
- 日本の衰退
- 建前ではなく、子どもたちの幸せに実益があることを祈ります
- 条約批准から 31 年、やっと狛江市にも条例制定の兆しが見えて嬉しいです。条例自体が狛江市の子ども達の権利擁護に、目的も規定内容も充実したものであることは必須です。更に、実行継続の為に市民は勿論、狛江市で働く方々にも、広く啓蒙され、会話や思考行動の中に当たり前に人権尊重が根付くような、成熟した市民社会になるように期待します。①青少年の健全育成に関するもの　②子どもの権利に関するもの　③子ども・子育てに関するもの　④子どもに関する個別(虐待・いじめ・読書・食育・ネット依存とトラブル・受動喫煙等など)のもの　欲張りですが、総合的に含まれいたら良いなぁと思います。
- 子どもの権利条約を認識している割合は、1 割にも見足らず、子どもに関わる職業(保育・教育・学童クラブ等)の方々も期待する程ではないようです。制定 25 年を迎える川崎市でも、市民への浸透にはかなりの努力をしているようです。
- 狛江市中にジワジワと根付き、子ども達が尊重され、希望に満ちた未来に繋がる実効性のある条例制定を期待しています。
- 特にないです
- 子ども条例で子どもの成長をみんなで見守れる事は良いと思う。が　子どもからお年寄りまでが一緒になってできる事があると良い。
- 狛江のこどもの特性を見きわめる。こどもの意見を聞く。制定を急がずに、じっくり議論をする。狛江市の実情に合わせながらも、大きな目でこどもの将来を考えること。

- 子供を産めなかった社会保険加入者の自身としては。子供がいるという事だけで優遇されるのか理解出来ないです。自身の生活で精一杯なので考える余裕など無いです。
- 将来の日本を作るのは、子供たちです。彼らのためになる条例にしましょう。
- 条約は良いと思うが、権利が守られていない実情が狛江市内であるのであればぜひ知りたい。(虐待など)
- 生活に余裕があるときは配慮できると思うが、自分が精一杯の時には余裕が無いため理想と現実で大人の論理になってました。そのため、条例制定後の親世代に対するアプローチが重要だと思います。
- 社会で子供を育てる事　見守る事　とても大切ですが街で声掛けなど難しい(不審者)接する機会もあまり無い
- 閉塞感のある中で育つ子ども達がもっと自由にのびのびと育つことに期待すると同時に子どもたちの意見と現状の社会の中で大人との折り合いをどの様につけていくのかが課題かと思います
- 子供が主体の条例だが、内容は大人の行動規範の列挙のようになるのではと危惧。子供にとって、具体的に何がどのようになるのかが分かる条文の整備を期待します。
- 未発達段階の子供の意見を全て取り上げて、大人は子供の意見の通り言う事を聞かなければならないなどと言う事は間違いです。見守る事が大事で、親の意見を聞かず子供の意見を聞いて外国では性転換までもさせてしまう輩がいて、問題になっているのをご存知ですか？余りに行き過ぎた子供の権利を主張させる狛江にはしないでください！！高価な冊子　考えよう自分のことみんなの事、8ページにわたる狛江市人権啓発誌がポストに入っていたが、内容がアフロのふたりのおかしな講師の宣伝ですか？そして狛江市も狛江市民でなく、外国人にやさしいまちづくりをするんですか？税金かけてこんな外国人にやさしくしようなんて冊子はいらない！子供条例をとなえる前に、子供の使う教科書がどれだけ嘘の記述があるか、教育委員、狛江市企画財政部政策室市民協働推進担当の職員さん方よく見直してください！子供条例作る前に、大事な子供達の頭を犯す教科書の内容をどんなものか勉強して下さい。特に社会科で、誇りある歴史に誇りをなくさせる嘘記述。狛江市の教育から他の見本になる教科書採択し、狛江から日本の中心となる人間を育てて下さい！子供の為ならまずは教科書です。勉強して下さい??心ある職員がひとりでも声を上げて、おかしな子供条例など作る前に子供を犯す教科書を撤廃し、狛江の子供を守って下さい！こころよりお願い致します??
- どの様な内容か分からない
- 子どもに関することの範囲や、子どもにとってよいことの定義などが曖昧。そもそも条例を作ることに関して子どもはどのように思っているのか。
- 子供の考えをどのように聞いたら、子供が答え易いのか、本音を言えるのか・・・専門家と十分に練っていただくことが今回のポイントだと思います。
- 子どもにとって最も良いこと、は当事者の経験、環境、価値観により異なると思う。客観的な考え、意見も交えることが必要と思う。
- 最近他の市町村での同様な条例に関して、真に"子供達の為"というより周囲の大人達の思想が優先されているように感じているので、本当に子供達が可能な限り萎縮することなく育っていける街であり続けることを期待します
- 条例が出来ても作っただけで満足しないようにして欲しい

- 特にない
- 発達障害が疑われる子どもを持つ親が相談しやすい環境を作ってあげてほしい
- 自由には、責任がついて回ることを自覚し、忘れないこと。
- 制定に賛成です。子供達と関わる事はありませんが、考えてみる機会になりました。
- 大人の考えだけを押しつけず、何事も子供の意見を蔑ろにせずにしっかり尊重して、子供の権利を大切にしてもらいたい。
- 子供への意識を高める点で有用
- 子どもは社会全体で育てるものという認識のもと、世代を越えて協力し合える社会になると良い。
- スマホの取り扱いについて
- 子供の意見は大事にしてあげたいけど、すべていいよ いいよで通してしまうと 嘘やわがままで 自我を通そうとる子供を増やすことになりそうで未来が怖いです。できないことを 子供の言葉で悪いことは悪いと決めておくことも忘れないで欲しいです。
- 良いと思う
- なぜ条例化する必要がおりますか！単に活動家の利益獲得しか思えない！
- 特にありません
- 子供の意見をよく聞く事はもちろんだが，大人としてできることとできないことを子供に提示して，両者よく納得した上で，一時的でない子供に役に立つ条例にしてほしい.
- 他の地域より障害者の対応が少し悪いような気がする。国も東京都も主に 18 歳未満を対象に支援対策されているようだが、障害者のみならず範疇から外れた者にももっと対策をしてほしい。調布や府中と連携して対策を実施してはいかがでしょうか。
- 子どもたち一人一人の考えを聞く機会をたくさん作って下さい。悩みを言えないで悩んでいる家庭が多いと思いますので。
- 子供の言いなりではなく、しっかりと物事の良し悪しを伝えた上で子どもの意見を尊重する様、また教育現場が混乱することなく、より良く作用するよう願っています。
- 子供内での受け止め方が心配になる。小学生の時に、 塗り絵形式の子供向けマナーの本を毎日一つ読んで、塗り絵して発表する会は印象的であり、子どもながら自分の行動を見直すきっかけになった。
- 子どもが意見を言える場､対面だけではなく SNS や様々なツールを使い言える場とそれを聞くボランティアなどを育成していく必要がある。
- とても良いことだと思うが、どんな内容になるのか、どのように活用されるのか具体的にイメージすることができない。
- 地域皆で、子供達の、成長、生命、など、コミニケーションが、取れて見守れたら、最高です。地域の方が、子供達に気軽に挨拶出来て、成長も安全も確認できる、暮らしが自然に出来る町に、なる事、願っています。
- 全て思い通りにはならないと言うことをもう少し教えた方が良いと思う。権利平等を主張するには義務もあると言う事を教えて欲しい。
- 政府もそうだか子供にばかり目が向けられている。おむつメーカーでさえ高齢者向け製造に舵を切った今、高齢者対策の方が必要だと思う。すでに手遅れな子ども対策ではなく高齢者向けの対策を検討すべき。こども条例の子どもの部分を高齢者に置き換え考えていただきたい。
- 子供が過保護になり、甘やかされ過ぎないか不安。

- お題目だけにならないよう、条例というよりは、日常、生活、教育自然に人としての尊厳など、てーまにする機会がある事を望む
- 大人目線でなく、全ての子どもの真の幸せ、人権を保証する条例に。
- 率直に条例ができたかどう子供の生活が変わるのか不明です。実利がない市議会の「達成感」だけのものにならないことを祈ります。この条例にどう子供達の生活が変わるか具体例なども挙げるといいですね
- 他の自治体の条例を参考にしていると思うが先行している自治体の失敗例を良く吟味して制定して欲しい
- 外国籍の子どもさんを優遇するあまり、日本人の子どもたちの貧困やイジメに陥らない様な施策をお願いしたいです。
- 子供（私の場合は孫ども）には心身の健康バランス向上必要。第四小学校跡地の早期開発、特に室内プール他体力向上施設の早期建設希望。私を含む高齢者の健康維持、孫との触れ合いの場が狛江市には不足している。いつ着手、完成するのですか？
- 必要あるのかな？
- ほんとに子供の為の条例になるのかそこが心配だ。子供達に直接条例を考えさせる機会を作ってほしい。先生と子供達、親と子供達で考える場所・機会も作ってほしい。
- 子どもの幸せをみんなで考えて実現出来たら良いな。不幸なニュースがなくなる日が 1 日も早く来て欲しい??
- この条例で子供を 18 歳未満と定義（確認はしてません）した理由はなんですか？個人的には 16 歳未満でも良いのではないか。
- 子供に対して手厚い条例ができるのはいいことだと思う。一方で、(大人は子供の意見を聞く、というところに関連して)ある程度年齢が高くなり、ネット等の情報から歪んだような意見、考え方を持った子供に対して、正しく大人が対処できるような条例にして欲しい。
- どのようにして、子供たちに浸透させるか、条例が守らないとどうなるかをしっかり伝えることが大切。
- この条例を作ったあと、どういう姿になってほしいのかの情報発信が必要。たとえば小田急線の子育て応援車両という取り組みがありますが、何も具体的な施策が伴っていないので、関心がある人もない人も行動変容にはつながりません。
- 子どもは 10 年後には大人になります。今の子どもが 10 年後 20 年後の東京、日本を作って行きます。教育に何よりも力を入れてほしいので子ども条例は大賛成です！
- 子どもにとってはもちろん、周りの人にとっても、強制ではなく対応できたらそれは素晴らしいと思う。
- 子供条例ができることには賛成です。私自身が小学生の頃は、いつも自分の考えをどう説明したら良いのか分からないものでした。外でも家でもおしゃべりが得意な人同士で話すことが多く、家で話そうとしたら、母親から「早く話して」とイライラされて余計話せなくなっていました。父は仕事から帰るとテレビばかり見て子供とのコミュニケーションを真面目にとろうとしてくれませんでした。母は憂さ晴らしのように、ひたすら自分が言いたいことを話し、私の話に向き合うことは少なかったです。学生時代は、ずっと人とのコミュニケーションに苦手意識があり、それを克服したいこともあり、あえて仕事では接客業を選んだこともありました。そのおかげで、人と話すときに以前ほど苦手意識はなくなりましたが、子供の頃から、もっと自分で言葉を発する機会が多かったら、人生がより充実したものになっていたかなと思います。子供を蔑ろにすることで、その子の将来がより良くなるとは思えません。ちゃんと向き

合って、話を聞いてあげる機会をたくさん作ってあげてほしいです。
- 学校などに専門カウンセラーを置くべきです。
- 具体的にどのようなメリットがあるのか、知りたい。
- そのように検討されておられるとはおもいますが、子ども条例の利益受益主体は、子どもであって欲しいです。こども家庭庁のように、その実、親ありきの子ども、という思想が制度に反映されてしまい、親のない子や、倫理感・子どもに対する人権意識の低い親が利益受益主体になるケースが見られるためです。
- 条例を制定すること自体は、市としてのスタンスが分かりやすくなって良いと思います。同時に、この条例制定の目的/具体的に目指そうとしていることも現時点の内容で構わないので知りたいです(このアンケートの一般向けリーフレットは、リンクが機能しなかったので内容を見られませんでした)。
- 個人的には、経済的に困っている家庭の子どもたちへの支援、子ども食堂の充実、そういった家庭への差別(子ども同士の関係における差別)がなくなること等を期待します。
- 具体的な明示(誰が見てもわかる様なもの)があれば、良いと思う。抽象的な明示だけでは意味がないと思う。(例えば、「差別はやめましょう」だけではただのきれいごとにしか聞こえない。)
- 良い取り組みだと思う。実現してほしい。
- 子どもの考え、思いなど、どういうふうに聴くのか
- 条例ができることは大変良いことだと思います。ただ何でもそうですが、条例だけでは拾いきれない状況というのが必ず出てくると思います。その時にどうするかということも視野に入れて枠組を作られたら良いのではないかと思いました。
- 子どもが伸び伸びと成長出来る地域の環境を、周りの大人は常に考える。子どもは皆素晴らしい能力を持っている事を大切に育てたい。
- 何が問題かが分からず、何を目的といているのかも分からない。法律ができたから条例を作ると言うのではなく、問題や目的を十分に議論する様にして貰いたい。
- この条例は施行されてからが本番。反していることが直ちに発見され、改善に向かう取り組みにつながる仕組みを作ることも大切。
- 条例を作らないと子どもを育てられない、守れない社会を残念に思う。
- 特になし
- まずは、子供を持つ親が率先して責任を持つべきで、子供を持たない大人に「ああしろ」「こうしろ」と決まりを作るのは違うのではないか。また、昨今では独身の大人が子供と関わる(大人の方から挨拶をしたり)だけでも不審者扱いされる風潮がある。そういう世間の風潮を是正するのが先ではないのか？
- 子供に接する機会は、孫と関わり合う時が主な時となるので、狛江の中で子供と関わることとなるとほとんどなくなるので、このアンケートを記入するにあたり、狛江の中で、とかの条件があったらまた、回答が違って来ていた気がします。
- 親の立場によって子供にも影響があるのは良くないと思うので子ども条例ができるのは良いと思う。
- 条例の内容が子供にきちんと届くようにしてほしいです。困ったこと、苦しいことがあったら、知らない大人を頼っていいんだと思えるものにしていただきたいです
- 障がいの孫がいるので　子供と良く話し合う機会があるので　子供達にとって　楽しく過ごせて　健常者とは違う場所で学んでほしい

- 子供は宝です。
- 子ども条例ができることで、子どもは皆が見守り、育てるものだという認識が醸成されるようになればと思います。全ての大人に子どもの未来に対する責任があると思います。
- 狛江市の少子化に歯止めをかける
- 子供は国の宝、少子化のいま、真剣に考えるべき。
- 良いことだと思います。
- 新たに条例ができることには賛成。
- 子どもが健やかに育つことができる地域は、みんなが安心して住みやすい地域。期待しています。
- 特にまだわかりません
- 子供に意識が向くのは良いことだと思う
- 子供が少なくなり、先が心配です。子供たちが安心して、健やかに成長出来る様に地域全体で、取り組む事が大事だと思います。
- そういった条例はあっても良いと思う。が、その条例を子供に押し付けるようなこと(多様性、ジェンダー、LGBT、ポリコレ等)は注意して欲しい。
- 特にありません。
- 特になし
- 子ども条例を子供がどのくらい理解できるのか疑問に思う。子どもとの関わりが環境的にないが、日常的に子供の声が響く街であって欲しい。
- 良い方向に進めて下さい
- 良い事だと思う。子どもと一括りにせず個を尊重したい。
- 今後長く狛江市に住むことを考えている中で、子供条例が出来ることに対してはすごく前向きに捉えています。幸せの定義は人それぞれかと思いますが、やりたいことがやれる環境であることが大事かなと思います。なにかの制限があって、子供がチャレンジしたいことに対してサポート出来る環境であるのが素敵な町だなと思います。例えば、市内の保育園や学校等で各生徒にアンケートを取ってみたり、リアルな子供の声を回収しそこに対して全てではなくても統計をとり実現できるようにするetc.
- 子供が何かを考えるきっかけになったらいいと思いました！
- 条例化して子供に対する対応の指針とすることはとても良いことと思います。子供条例の説明の?「子供にとって良い事を考える」とあるが、どのような方々が考え判断するかが大切と思います。大人の目線だけでなく、子供にとって、また彼らの将来にとってという視点で的確に判断できる方々が考え、判断することが大切と思います。
- 根付いていくには時間がかかりそう。こども条例の決められた事、教科書に載ったことしか対応できない人ばりが増えないか心配。条例を深く理解して柔軟な対応をできる人たちが増えることを願います。
- 市全体で子どもの権利について考え、それを形にするという方針は良いと思う。特に差別に関してはまだまだ顕著に見られる問題なので、この条例を境にすべての人が考え直すきっかけになればと思う。
- 特に無い
- 参加と意見表明。条例をつくるまでにどれだけ子どもと対話を重ね、納得をしながらつくりあげることが重要と考えています。制定されたら、実施の実態をきちんと子ども参加で評価することを願います。
- このアンケート自体の内容、特に答えの選択肢から疑問、曖昧さを感じる。私の子供は 23 歳になったが自分の子育ても日々反省と改善が必要だったし、何より学校教育や他の家庭との環境も大きく関わっていたと

思う。現在の社会生活とかけ離れすぎた理想論の押し付けにならないように願います。

- 否定的な表現(?してはいけない。もしやったら、、、。)は最小限で、肯定的な表現(?します。しましょう。して良い。)が多くなる事を期待している。
- 子ども条例が制定されて、子どもにとって良い施策が行われることを期待します。
- 次代を担う子供たちが健全に育つための環境だからは大切だと思う狛江市は高齢者が高齢者に手厚い傾向にあるがやはり　子どもたちに手厚い福祉環境を整えることは重要だと思う
- 市民に対し、周知徹底を高めることが必要不可欠だと思います。
- とても良いと思います。
- 子どもが自分で考えて決められること、を条例の中で守って欲しい
- 子供や保護者をかえって束縛しないこと。また、ある程度の具体性のある実効性のあるものにしてほしい。
- 保護者（親）の義務も明確すべき
- 公金チューチュウーに相当する余計な組織作りをしない事!
- そもそもこの条例を作ることによるメリットがよくわからない。予算に対してコストパフォーマンスは良いのでしょうか。
- 特に虐待やいじめ問題、ヤングケアラーに関する事柄、および子どもの健康について真剣に取り組んでもらいたい
- 子どもの数の減少、生活に苦しむ家庭、学ぶ場所も多様性を求められ、子どもを取り巻く世の中の急速な変化に　人もしくみも追い付いていないと感じています。議論を重ねてゆくことも大事ですが、重ねすぎると失敗を怖れるあまり後ろ向きな思考になってしまう残念な結果が多々見受けられます。条例には、時代にあったスピーディーさと失敗を恐れない大胆さを求めます。
- 条例は大切で賛成ですが、その環境を守るには大人の考え方、心がけが必要。その為には大人の心身の余裕が必要。大人にも余裕が持てるようなきめ細かな手助けが必要と思います　色々な相談窓口だけでなく、ご近所さんの手軽な助けがあると良いですね
- そもそもこの条例がどうして「子ども」だけに適用されようとしているのかが理解できない。大人と言われる世代の人にも、差別され、人にとってよいことは無視され、意見も尊重されず、命も守られていない人、が大勢いる。すべての人が世代や性別にかかわらず尊重されているとは言い難いのに、こんな条例で子どもを守ることができるという発想がおめでたすぎる。こんな条例は、看板が美しいだけで、持てる者と持てない者の分断をさらに深くすることにしかならない。子どもを守りたければ、人を守らなければ意味がない。
- 条例というのか、子供に関わる大人に対しての条例が欲しいです。例えば子供が性的被害にあった場合、とにかくその加害者は厳しく罰せられるべき。
- これ以上子供、子供のいる世帯を優先する必要はない
- 子どもの権利について異なる考え方を持つ他の大人と話すとき、引き合いに出すことで論点提示のきっかけにできるかもしれない
- 原則は共感できる。条例もそれに則ればいいと思う。
- 子どもの意見を聞ける場があると望ましい。
- 常に環境保全に関心を払うよう子ども教育が必要だと思います。出来ることから、始めるようにしましょう。
  ・限りある資源を大切にすること、水を出しっぱなしで顔を洗わないこと

・油の付いた調理器具、食器は紙で拭き取ってから洗う(水を出しっぱなしにしない)
・社会的弱者に親切に寄り添う心を育てる
・税金の使われ方に子どものうちから関心をもたせる
・権力は監視していないと必ず腐敗することを教える
・税金を使って何か業者に仕事を発注する際は、必ず競争入札にて行なうことを幼児期から教える。難しいことでも優しく教えれば幼児と言えども理解する事を肝にめいじる
・幼児にも市議会を傍聴させる
・訳の分からぬ仕事に血税が使われていないか、子どもの時代からチェックする心を養う
・市民の血税が随意契約等で使われている場合は先ず汚職を疑うことを学習させる。

- 住みやすい狛江市、魅力ある狛江市、イベントなどで子供と接する機会多い狛江市を
- いじめ防止対策推進法が「絵に描いた餅」であるように、こども条例も机上の空論で終わらないことを願う。教師はいじめが発覚すると出世に響くからいじめはないことにするなど無責任が横行している。こども条例も同じように根本的問題点を洗い出して対処すべきだと思う。
- この条例で具体的に何が変わるか、がよく分からない
- あまり形にはまった条例ではなく実現てきる条例を目指すのが基本と思う、同時に子供の年齢を考慮したエチケット、道徳の教育が必要でわ！
- 子どもを守ることを目的としているが、条約を都合よく解釈し、「守る」という名目で悪さをする大人がいないか心配
- 上から目線の子ども嫌いの方々(子どもは走り過ぎ、騒ぎ過ぎ、うるさ過ぎと思っている方々)が子供達の条例を認めたくないのでは？『たかが子供の意見を聞いたりするから図にのるのだ』と言われそうです
- 誰でも差別なく、子供達には明るい未来がある事を感じてほしい。
- 子どもが大人に振り回されない、居心地の良い環境にしてあげることは、いいことだと思います
- 学校の関わり方、PTA 会の関わり方も大事な検討事項と思います。
- 大人の平等は守られているのでしょうか？「子供」と限定する理由は何？
- 差別、偏見の無い平等(個々人に合った対応)な社会になる事を望みます。くだらない(どうでもいいルールは作らないこと)
- 将来どの様な大人になって欲しいのかを明確にすることが必要。権利だけでなく、生きて行く上で必要不可欠なことを理解していけるような配慮が必要。
- 少子化の中子供を守る為の条例が作られる事は賛成です。
- 子ども条例ができることで、子どもたちが少しでもじぶんらしく自分のことを尊重して過ごせる街になるのならとても良い取り組みだと思う。子ども条例ができるだけでは今までと同じになってしまうと考えるため、できた条例をどのように広めていき、どのように活用していくのか考えていくことが大切だと思う。
- 子供と話をした時に、大人と子供の意見がすれ違う時がある。双方の意見（間違いではない）の食い違いの説明納得をどう合わせるかが難しい
- 家庭環境や先天的な病等によって不当な扱いを受けているお子さん達、裕福な家庭にいながら家庭内の不当な扱いを受けているお子さん達、学校など家庭以外でいじめを受けているお子さん達、居場所のないお子さ

ん達、ネット含むバーチャルな環境でしかアイデンティティを発信できないお子さん達、全てのお子さん達にとって自分たちの権利（憲法で保障される）を堂々と主張し地域社会の中で自分らしく生きる事を実現できるよう、必要に応じて大人がサポートできる体制の確保を条文化できると良いと思います。

- 自分は独身で子供がいないのですが、子供達にとって良い条例が出来るよう願っています。
- 現代、特にコロナから大人社会も大変ですが、子どもを取り巻く環境にとても不安を感じています。条例が大人にとって都合が良いことではなく、子どもの成長にとって時代を問わず、何が大切かを最優先に条例が作られることを切望しています。
- 条例を設ける現代、日本人の道徳的意識・行動の低下が著しく感じられる
- 私はインターナショナルスクールで働いています。外国人の子供にも配慮をお願いします。
- 子供だけの留守番禁止等実現が難しい内容が入らなければよいと思います。
- 3、命が守られ成長できること　命が守られる為に必要な環境の整備が必要と感じているのでとても良いと思います。一例として、登下校の通路の街灯が少なく、子どものみならず大人でも怖いと感じる場所は危険です。子どもは怖い場所を自転車で猛スピードで走り抜ける為、自動車やバイク、歩行者と接触したり、場合によっては大事故になりかねません。上記は 2.子どもにとって最も良いことに繋がっています。
- 子どもが安心して育つことができる環境が守られること、また子ども自身がそのために、思っている事を言えるための条例ができるのは良いと思います。
- 条例ができる事で子供達が正常に大人になってくれたら良いと思う。今は大人の都合でやりたい事もできずにいる子供達もいるので。本当の意味での自由をきちんと理解して自由に生きられるようになってほしい。本当の意味での自由を教えてあげられる大人も少なくなっていると感じているので子供の為の条例を作り、さらに大人の教育も必要ではないかと思う。
- 子どもにとって安全安心、差別無く、自由に生活できる環境作り。子どもといっても年代で求めるもの、求められるものに違いがあり、難しい問題があるのでテーマやコンセプトが必要と考えるが、多様性が認められつつある時代なので、条例の条にあまり、縛られる事がないようにお願いしたい。
- 親の収入、１人親、身体的不自由　一人一人違うことが当たり前です。一人一人の子供が、安心して支障なくその子自身が望む人生を歩める社会にして下さい。
- 大人が子供の意見を尊重し適切に対応するいいきっかけになればいいと思う。
- 子供だからという理由で色々と許されてさしまいそう。
- 大人目線と子供目線の双方を上手く融合したものを作成して欲しいです
- 市単位でお金を掛けて子ども条例を作成する必要は全く無いと思ってます。相談できる体制のみ構築を希望します。無駄なお金を使わないでください。この条例を作る、維持するのに幾らお金を掛けるか広報誌で開示してください。よろしくお願いします。
- いかなる場合も子どもを犯罪から守り、健やかに成長していく環境を整

えてゆくことが大切と思います。

- 必要ないと思う。子供たちは未来、希望そのものであり大切にしていくのが当たり前であり条例ができても半分守られ半分は機能しない
- 良いと思います
- 子どものことを考えるのはいいと思います。
- いつも、虐待とかネグレクトなどのニュースを見るたびに心が痛みます。一人でもそんな子供がいない社会を作りたいです。できたら、戦争もなくしたい！
- 「子どもの意見を聞き、尊重すること」と「子どもの意見を無条件に聞き入れること」を混同する人がいないか少しだけ心配だと思っている。
- 今、子供の虐待等が発生している。親の浅はかな行動が原因かとおもわれる。また、経済的な問題点があるかもしれない。それらを守るためには、まず聞き耳をもつ環境を整備することだとおもわれる。以上
- 優しさと厳しさが必要
- どんな条例かわからないからコメントが難しい
- 条例が出来ても、結局のところ各々市民が意識して行動できるか、ということだと思う。議員、議会だけが盛り上がって終わりでは困る。不登校児がいなくなることを願っているし、学校の立場、希望ではなく子どもたちが居場所を求められるようになってほしい。学校は個性を伸ばす、楽しむ場所です。
- いじめや差別は子供達が大人の何気ない、悪気のないちょっとした言動から感じ取った何か　に起因している様に思う。条例をきっかけに大人が自分自身に問う事の意義も大きいと思う。
- 昭和時代の様にサッカーやキャッチボールなど子供達が生き生きと遊べる公園があまりにも少なくなった　増やすべき
- 子供条例が出来ることはいいことですが、このアンケートの聞き方は違うと思う。誰もが子供のためと思ってしている事だから、考えたことがないと答える人は少ないと思う。
- 公園とかで子供を見かけることがあるが子供の権利や安全を過剰に意識するあまり近くの大人が不審者として通報されたりする事はないのか？子供条約の理念は大事だが現代の他者との繋がりが薄い社会では何の意図がなくても子供と同じ公園にいたサラリーマンがどこか怪しいというだけで警察沙汰になったという事例を報道で見たことがある。結局のところ親以外は近づくな、というのが子供を守る１番まともな策なのではないか？子供の権利や安全を守らないと行けないからこそ大人の権利というものもまとめて見直さないといけないのではないだろうか。
- 子供条例、とても良い事だと思います。あたりまえの事で常に考えたいと思います。子供の人権
- 極端な少子化になりつつある昨今、条例ができることで狛江市も子育てをしやすい町である、とより一層のアピールになるよう期待する
- 一人暮らしで周りに気軽に話せるような子どももいないのですが、子どもが住みやすい街になることは大切だと思ってアンケートに回答し始めたところ、回答項目が日頃接することが「できている/できていない」という、接触している前提にしていることに疎外感を感じました。考えてはいるのに直接子供に伝える経験がないことで、できていないという回答と同じ項目にチェックする他なく、何のために質問されているんだろうと思いました。日頃子どもがよりよく生活できるようにと願ってはいるのですが、私のような人間の意見は不要でしょうか？と感じてしまいました。アンケートの趣旨に対する疑問でした。一方、こうした取り

組みは重要だと感じますので、今後の取り組みにも期待しております。誰もが住みやすい街づくりをどうぞ引き続き頑張ってください。

- 内容は結局何なの？教育に金を使うのは賛成　あと教育カリキュラムも実践的なのした方がいい　古文漢文や日本史世界史を削って、統計や政治経済、金融の時間を増やす　入試科目も歴史を廃止して数学や金融入れるべき　社会で使えることを学ばせよう
- 良いことだと思います。
- なし
- いいアイディアだと思う。推移を見てみたい。
- 義務教育期間は道徳、経済、歴史などを正しく費やす時間を増やす事が望まれる。
- それを正しく教える教師の実務研修も必要。
- 日本国籍の子供だけにして欲しい。菜食主義など宗教に配慮しすぎないで欲しい、家庭で対応出来るところはしてほしい、学童などの職員のやりがい搾取にならないようにして欲しい。子供も大事ですが関係施設の職員の労働環境も大切にしてほしい
- 全ての子供達が、平等に対応出来る内容であれば良いと思います！
- 今、条例制定する状態なのか理解ができていない。
- すべての子ども達が、経済的にも環境的にも思想的にも平等であってほしい。食事がたべられない子、教育が受けられない子、親に放置されている子のいない、平和な環境で暮らして欲しい
- 楽しみにしています。お題目に終わらないで、更なる具体的な取り組みを期待しています??
- 子供の意見ばかり聞いていてはいけない我慢や頑張る意識を子供時代に厳しく教えなければ自分勝手な人間があふれかえってしまう。もっと子供自身にも子育て世代親にも厳しくするべきだ。税制優遇などもしなくて良いと思う。いままで皆その環境で子育てしてきたのだからできない者は子供を儲ける資格はないと思います
- 幼児虐待の対応の迅速化をのぞむ。
- 敢えて条例を作成する必要性を周知する事が必要。
- 子供達に未来永劫に、平和な社会を享受してもらえるように、伝えていきたいです。
- 協調性の再認識と責任の測定。
- 特に無し
- 特になし
- 子どもの生命が守られ、成長が促進されるような内容にしてください。
- 健常者、障害者の区別を子供に感じさせることのないような社会であってほしい。そのためのサポートが考えられことを望む。
- 子供達との会話からは時々ハッとさせられるほど気付きをもらいます。大人が思っている以上にしっかりとした考えを持っている子供たちも多く、そう言った意見が活用できる条例であればと思います。
- 私自身には子供がおりませんので、出産や育児を経験したことがありません。しかし、全ての子供が健やかに育ってほしいと願っていますし、そのために自分ができることがあれば力になりたいと思っています。貧困や虐待や病気などで子供たちが辛い思いをすることが少しでも減るような、そんな暮らしのできる市になって欲しいです。それを実現するための条例となって欲しいと願います。
- 通学路の安全対策など、オトナの視点からもアドバイスしてあげることも大切だと思います。
- 子どもを守るのは大切だが、ろくでもない親がいるのも事実なので、そ

っちを何とかしてほしい。内縁関係がありながら手当をもらっていたり、偽装離婚をしたり。

- といっても何も変わらないのでどうでもいいし関心もない。
- 子供の安全を守れるよう、条例には強制力など一定の実効性を持たせてほしい。そのための内容は理想論ではなく、子供のいない家庭でも受け入れられるような、反発を考慮したものとしてほしい
- それが生活にどう落とし込まれるのか、条例をどう機能させて意味を持たせるのかがわからない
- 子どもの権利が今以上に守られるようになるのであれば良いと思う。
- 考えや思いを聞く事は大事
- 条例の必要性に切迫した社会状況なのだと認識を強くします。私に何ができるのか、自問自答です
- 子ども条例が制定されること自体はとても良い取り組みだと思います。ただ、制定することだけで満足するのではなく、きちんと活用、守っていくための取り組みについてと検討いただけますと幸いです。毎日お疲れ様です。
- 子育てについて法で規定しないといけないほど、大人の「能力」が落ちていることに危惧を覚える。
- 条例の趣旨はよくわかり、よいものと思いますが、実践がどこまでできるか、むずかしいと思います。市の仕事の OB ですが、できれば、医療や保健の分野で協力したいです。
- 子ども条例は大切だと思います。内容の精査プロセスの公開をお願いします。
- すべての市民に内容が周知され、子どもの権利が守られるよう願っています
- 今の子ども達が将来に希望の持てる社会を作り上げていくための内容になっている事を希望します。
- 是非、進めて頂きたいと思いました。
- とくになし
- 特に無し
- ・あくまでも子ども目線であり、大人の都合の良いものにならない事。
  ・事体の根本解決につながるものである事。例えばこども食堂事体を否定する訳ではないが、そもそもそれが必要となっている現状そのものを検討し、解決する方向に導くものである事。対処して満足するものではない事。
  ・子どもの不登校が急激に増えている事実を考え、その根本解決となるようなものが折り込まれる事。不登校になっている家庭は表に出て来ない可能性は高く、いかにその実体をとらえていくか。
  ・そもそも表に出て来ない困り事をいかに汲み取るか
  ・但し、子どもにシフトしすぎて、大人を置いてけぼりにすることで、大人の不満がたまることはよくない。ひずみは不満を呼ぶ。
- 国連で採択されてから、なんと 37 年がたちます。いろいろな自治体の条例を参考によりよいものを作っていただきたいです。4 つ原則のなかで、1 番深刻になっている子どもたちの状況は、③です。9 人に一人と言われる子どもの貧困問題。子ども食堂など市内にもありますが、ぜひ自治体で施策を行ってほしい。
- 条例の名前は、ぜひ『権利』を入れ、「子どもの権利に関する条例」などが良いと思います。
- 子どものことを考える市民が増えると感じました。
- 子どもたちが、安心して自分の意見（感じたことや思ったこと）を伝え、

そして、聞いてもらえる経験を、身近な地域の中でこそ、保障することが重要であるため、川崎市子どもの権利に関する条例に規定されているような子ども会議を狛江市の条例においても制定するとよいと思います。

- 良いことだと思います。
- 条例を一から作るなんて大変だなと思いました。
- 大人の都合を押し付け、それが「しつけ」や「あなたのため」というような一方的な行為になることがあると思います。まずは、子どもの気持ちをしっかり聞くことが大事たと考えます。差別、排除など深刻な問題も多くあります、被害にあっている子どもはもちろんですが、加害的行動を起こしてしまう子どもの背景を探り、その子どもの意見も十分に聞かなくてはいけないと思います。対話から始めることで、理解が深まるのではと考えます。
- わかりません。
- 市民すべてが狛江市の子供たちのために考えることは大変良いことと思います。
- 今更ですが、狛江市の町には子供 110 番のプレートが有る場所が無さすぎる。文京区から来た自分は少な過ぎると感じてます。
- 子供達には、自由にすくすくと育ってほしいから、条例により護られるのは、必要です。
- 子ども条例について子どもを含めて市民の周知、浸透が図られているか？このまま条例だけが先行して制定されると形骸化が心配だ。条例制定が目的とならないよう、あらゆる角度や分野での発信が必要と考える。特に子どもが主体となるワークショップなどが発展的に行われることを希望する。
- 子ども条例は、子どもの権利条例でない理由が知りたいものである。たとえば、差別禁止条例とか、人権条例、女性差別撤廃条例といった基本条例といっよに体系的に作っていくならば、よいとは思う。元市長のセクハラを契機にできたハラスメント防止条例にしても、人権や地方自治の基本条例「狛江自治基本条例」「人権条例」女性差別撤廃条例といった条例がないので、あまり政策に生きてこないし市民生活の指針たり得ていないといえる。そういう状態なので、子どもは差別されないで生きる権利があるというのを掲げるのであるから、少なくとも「狛江子どもの権利条例」とするのがよいのではないか。アンケートで、子どもと接していない人がかなりいると踏んでのことだと思う。ここ数年子どもとかかわっていないかどうか、を聞くのは面白いが、そうであるならもう少し深堀して、どういう子供と接しているか、という設問を設けたらよかったのではないか。例えば、孫、自分の子ども、職場、近所の子供、市民活動で接することも、などが分かった方がよい。大人と子どもの現状をまず調査するのがアンケートの基本ではないかと思うが、この設問３に意味があるのか。いずれにしても、行政が行わなければならない施策が規定されてくる条例を作るべきである。大人がどうする、とか、だけを網羅しても理念条例になってしまう。意見表明権としては、意見を聞かれる権利とかに縮小されがちだけど、意見の表明権はしっかり項目として設けてほしい。政治参加の権利、歴史や政治を学ぶ権利は明記して、さらに、体系化・施策化する項目を入れるべき。基本的なところでは、成長する権利があることを前提として、選べる権利も明記すべき。例えば、だれと暮らすか。どこで学ぶかなどを選べる権利があると明記すべき。選べるためには、知る権利があることを明記すべき。そして、教えてもらう権利としても明記すべき。情報にアクセスする権利は明記しつ

つ SNS のアダルトサイトなどからは守られるべきであると明記。子どもではあるが、性的に収奪されない権利も明記。安心に平和に暮らす権利も明記すべき。食事や住まいの心配をしないで、身体に危険を感じないで暮らす権利も明記。児童虐待防止法やいじめ防止法、自殺対策特措法などの上位法関連でも項目を設けるべき。特に子供の死亡に関しての理由を明らかにされるべきこと、などは、いじめ防止や虐待防止、自殺防止にかかわることなので、一項目設けて明記すべきである。親権と子どもの権利について一項目設けて明記すべき。親権という概念への懸念や子供の利益を最優先すべきということは前提としつつも、第３者機関（家庭裁判所や調停員や相談員など）は常に子どものために研修を重ね、情報を収集することも明記。新しい家庭の形についても触れるべき。社会的養育についても触れるべき。多岐にわたるのは覚悟のうえで検討していただきたい。

- 条例を策定後にどのように、市民特に子どもと接する機会がない人に認知させるのか、要検討かと思います。国籍、人種に関係なく全子供に該当することをきちんと明記して欲しい
- 大人の常識や価値観が、子供の可能性を潰してしまう場合があることを、大人が意識することが大事だと思っています。また、子どもが自ら考え判断できるように、偏りのない情報提供が大事だと感じています。子どもが主体的に夢や希望を持ち頑張れる・生きられる安心安全な社会を作ることが大人の責任だと考えます。こうした社会を作るための条例ができることを希望します。
- 大人が子どもの意見を代弁するのではなく、子どもの意見を子どもが話し、それを大人が聞くという場面があるべき。
- なし
- 子ども目線の条例になることを願っています。条例ができることは喜ばしいことだと思います。
- 未来を担う子どもたちにとって、より良い社会が作られるために条例が出来るなら、社会の一員として歓迎したいと思います。